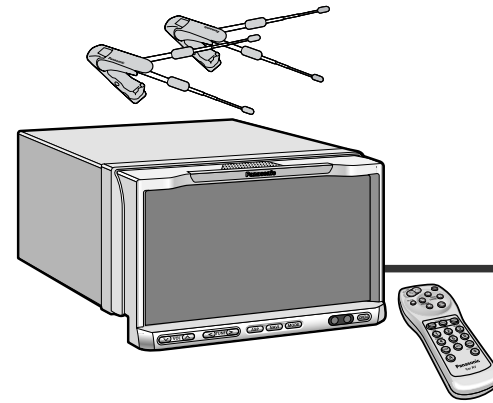


Panasonic

AV ネットワークステーション

取扱説明書



品番

CQ-AV7000LTD



保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特長

2DIN に TV・FM/AM チューナー・CD プレーヤー・MD プレーヤー・CD/MD チェンジャーコントロール機能、DSP をすべてオールインワン

7V 型ワイド液晶カラーディスプレイ搭載

高音質 5ch アンプ搭載 (45 W x 4ch アンプと 5W のモニター内蔵スピーカー専用アンプ)

CD-R/RW ディスク対応*1

「CD-R/RW ディスクのご使用について」(P.46 ページ)をよくお読みください。

MDLP*2、グループ機能に対応

異なった録音モード (2 倍長・4 倍長・通常) の曲が混在しているディスクを再生できます。

グループ機能にも対応しているので、聞きたい曲 (グループ) をスピーディに選べます。

タイトル表示機能*3

MD のディスク名・グループ名(グループ登録されている場合)・トラック名を表示できます。

モニター内蔵スピーカー搭載 (P.40 ページ)

モニターの上部にスピーカーを搭載し、臨場感のある音声やナビゲーションの音声を出力できます。

ゲーム感覚の操作音、メロディ作成機能 (P.32、34 ページ)

ボタンを押すたびに効果音やメロディが鳴ります。また、お好みの曲を 2 曲まで作ることができます。

カーナビゲーションシステム対応 (P.24、57 ページ)

カーナビゲーションの音声案内時に、本機の音量を下げるすることができます。(ナビミュート P.30 ページ)

カーナビゲーション付属のリモコンで、本機を操作できます。(P.64 ページ)

ビデオ入力端子付 (P.24、60 ページ)

ビデオ出力タイプのカーナビゲーション、DVD ビデオプレーヤー、ビデオカメラ、車載用カメラなどが接続できます。

ビデオ出力端子付 (P.24、60 ページ)

後部座席にもう 1 台のモニターが接続できます。

(前席でナビゲーションの地図画面、後席でテレビやビデオを見ることができます。)

お知らせ

接続可能な CD/MD チェンジャーは、下記の機種です。(2002 年 6 月現在)

CD チェンジャー: CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D

MD チェンジャー: CX-MD6D

*1: 本機は、MP3 に対応しておりません。

CD チェンジャーは、機種によって CD-R に対応していないものがあります。また、ディスクによっては正常に再生されない場合もあります。CD-RW、MP3 には対応しておりません。

*2: MD チェンジャーは、MDLP およびグループ機能に対応しておりません。

*3: 本機および CD チェンジャーは、CD のタイトル (CD テキスト) を表示できません。

本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

リモコンでは、ディスクの取り出し (▲: イジェクト) を除く全ての操作が可能

本体での操作のしかたは、リモコンと違う場合に明記してあります。

「各部のなまえとはたらき」(P.10 ~ 11 ページ) も併せてご覧ください。

もくじ

ご使用前に

特長	2
安全にお使いいただくために	4
使用上のお願い	8
付属品・添付品の確認と準備	9
各部のなまえとはたらき	10

使う

電源を入れる (基本操作)	12		
電源を入れる/切る	音量調整	消音(ミュート)	モード切り替え
モニターの角度調整	モニターの開閉		
ラジオを聞く	14		
CD を聞く	16		
MD を聞く	18		
チェンジャーで CD/MD を聞く	20		
テレビを見る	22		

使いこなす

他の機器と組み合わせる	24	
カーナビゲーション	DVD ビデオプレーヤー、ビデオカメラなど	
車載用カメラ		
便利な機能	26	
表示のパターンを切り替える	映像の横縦比 (アスペクト) を変える	26
音場を再現させる	映像を固定し、常に表示させておく	28
いろいろな設定と調整	30	
ユーザー設定	30	
時計調整は、こちらをご覧ください。P.34 ページ		
音質調整	36	
画面調整	44	

必要なときに

ディスクの取り扱いについて / お手入れのしかた	46
故障かな!?	48
配線・取り付けの前に	52
配線のしかた	54
本体の取り付けかた	61
TV アンテナの取り付けかた	62
ナビ付属リモコンでの操作	64
仕様	65
アフターサービスについて	66

ご使用前に

使いかた


必要なときに


安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。


 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告


運転者は走行中に操作をしない
また、画像・表示を注視しない

 **禁止** 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車させてから操作してください。


取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない

 **禁止** 保安部品（ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど）のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12V \ominus アース車で使用する


 本機はDC12V \ominus アース車専用です。DC24V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、バッテリーの \ominus 端子を必ずはずす


 バッテリーの \ominus 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

警告


故障や異常のまま使用しない

 **禁止** 万一、故障（画像が映らない・音が出ないなど）や異常（異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど）が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に相談してください。そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。


必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に依頼してください。


コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないよう引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。


指定に従って設置・配線する

 説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。


安全のため、必ずサイドブレーキコードを接続して使用する

 説明に従って正しく設置・配線しないと、安全機能働かなくなり、交通事故の原因になります。


分解・修理、および改造をしない

 **分解禁止** 分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。


エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない

 **禁止** エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。


リモコンを放置しない

 **禁止** 運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

雷が鳴りだしたら、アンテナやプラグに触らない

 **禁止** 感電の原因になります。

電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

 事故の原因になります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



禁止

発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない



禁止

手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に乳幼児にご注意ください。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない



禁止

特殊形状（ハート型・八角形・カード型など）の CD や、プロテクトフィルム・スタビライザーなどの CD アクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CD は使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けた CD-R/RW は、使用しないでください。

⚠ 注意

アンテナは、落下しないようにしっかり取り付ける



ねじがゆるんでいたたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して車のボディを傷つけたり、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

アンテナは、はみ出さないように取り付ける



アンテナのエレメントが車幅および車の前後部からはみ出すと、歩行者の目や顔などに接触して、事故やけがの原因になります。

電池は正しく扱う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

指定の電池以外は使用しない。

⊕⊖ を電池ケースの表示に合わせて入れる。

使いきった電池は、すぐに交換する。

リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。

充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。

電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。（ポリ袋に入れる、テープなどを巻く）

著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。

（窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど）

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。

万一、目に入ったときは、こすらずにすぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

使用上のお願い

必ず、サイドブレーキコードを接続してご使用ください。
走行中はテレビ、ビデオの映像が表示されず、音声のみとなります。また、停車中でもサイドブレーキを引かないと、映像は表示されません。(安全機能)

安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
2台目のモニターには、サイドブレーキを引いていなくても映像が表示されます。



他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音を生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

本機の取り扱いについて

液晶ディスプレイについて

低温になると、映像が出なくなったり・出るのが遅くなったりすることがあります。
また、映像の動きに違和感が出たり・画質が劣化したりすることがあります。
(使用可能温度：0 ~ 40)

液晶ディスプレイにはあまり触れないでください。
特殊加工されているので、画面に触れると指紋が目立ちます。

車載用以外には使用しないでください

車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該商品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象になりません。

付属品・添付品の確認と準備

付属品

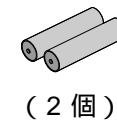
万一不備な場合が点ございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、52ページをご覧ください。

リモコン

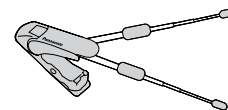


単4形乾電池 R03



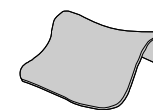
(2個)

TV アンテナ



(左右1組)

クリーニングクロス



添付品

取扱説明書(本書)

保証書

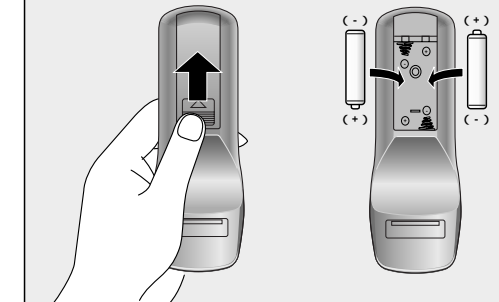
お客様ご相談窓口一覧表

リモコンに電池を入れる

1 押しながら
ふたを開ける

2 電池を入れて
ふたを閉める

⊕ ⊖ の向きを、電池ケースの表示に合わせてください。



電池について

使用電池：単4形乾電池 R03 2個

電池寿命：通常の使用状態で約5カ月

(マンガン乾電池 / 常温時)

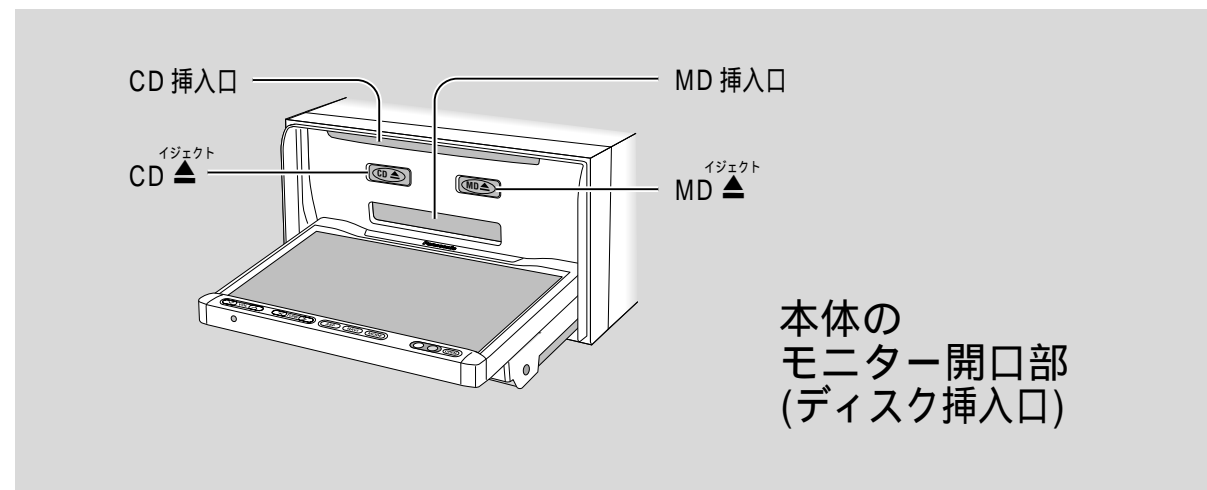
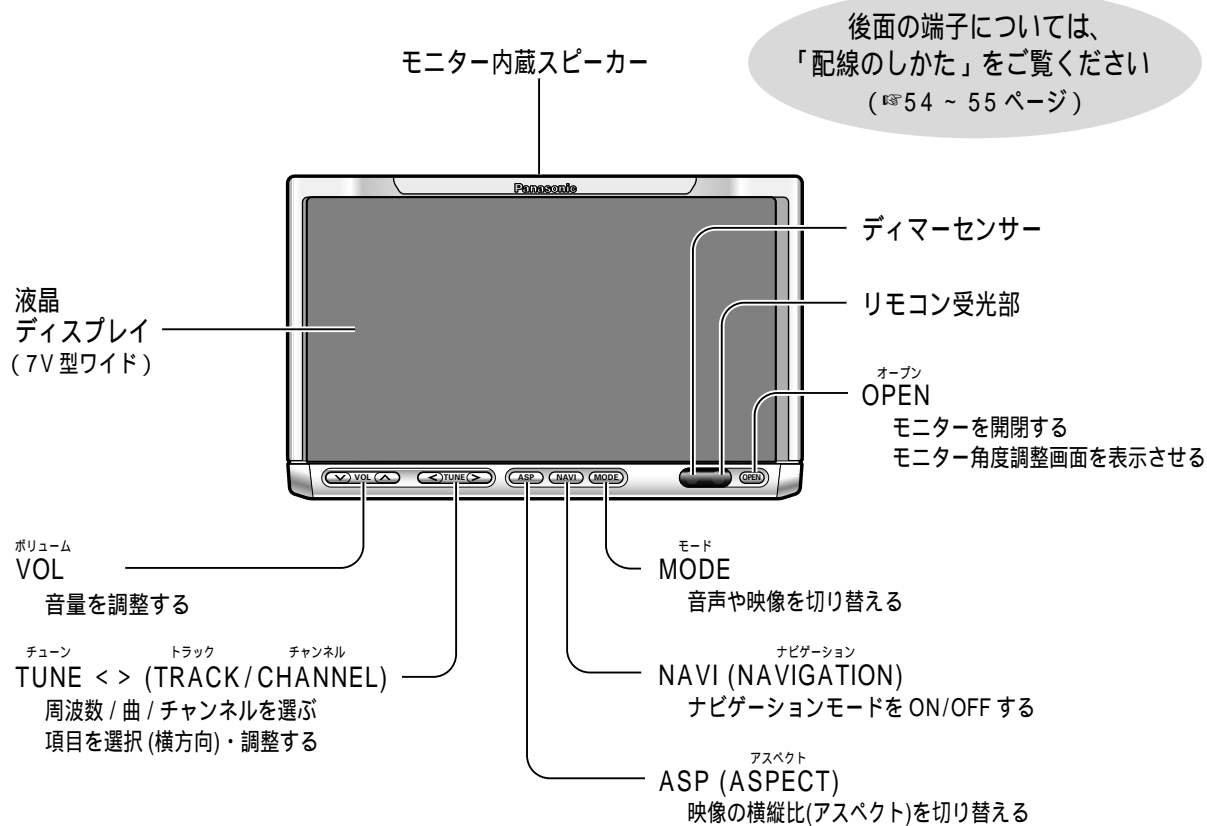
電池についての注意書き(7ページ)をよくお読みください。

お願い

アルカリ乾電池は使用しないでください。

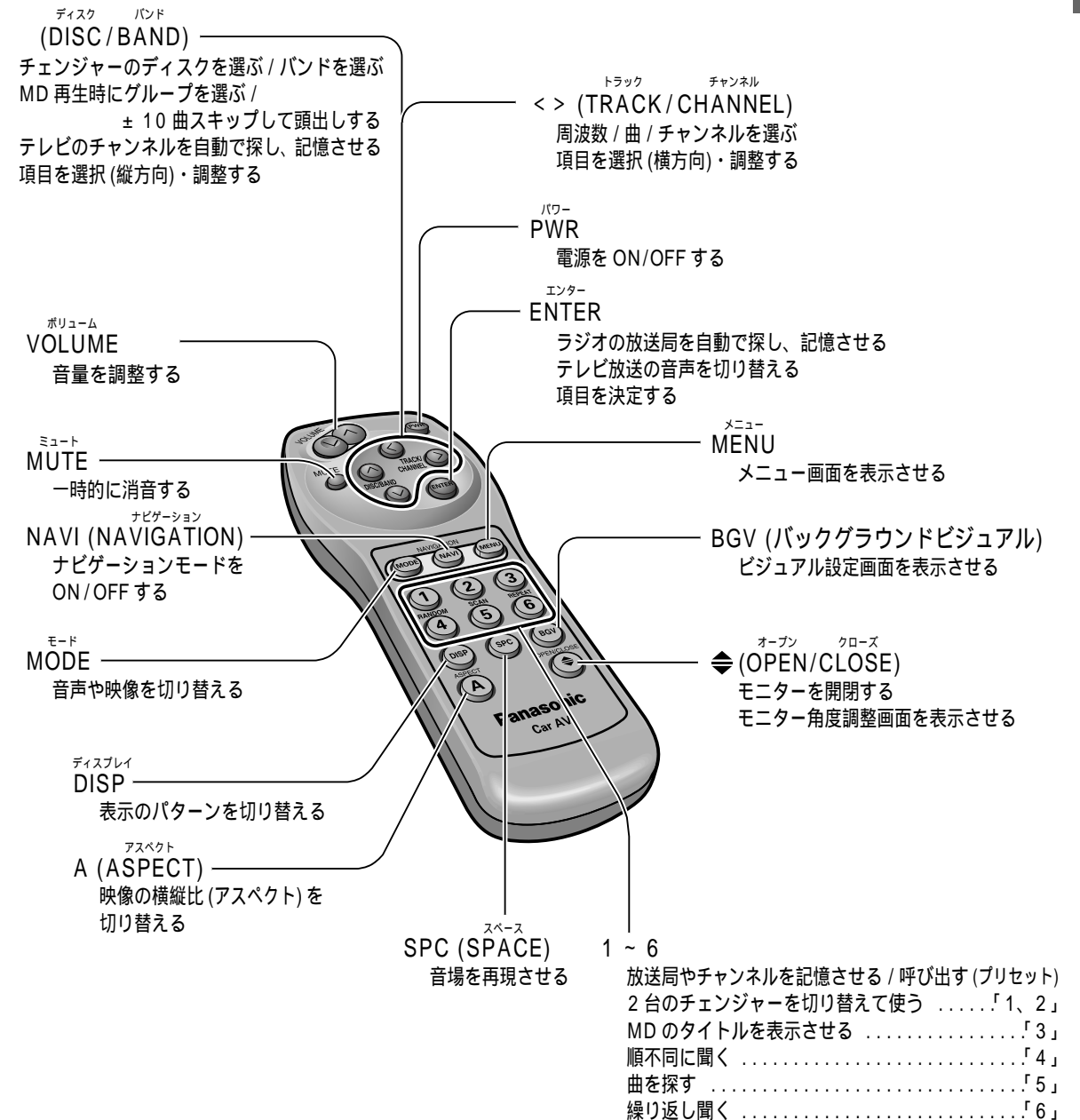
各部のなまえとはたらき

本体



リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて、操作してください。



ご使用前に

電源を入れる (基本操作)



はじめて電源を入れたときは
デモンストレーションが表示されます。解除して
からご使用ください。
● **DISP** を押して、表示のパターンを切り替える
モニターが、障害物(シフトレバーなど)に
接触する場合には
モニターを閉じたとき(全閉時)の角度を調整して
からご使用ください。(P.30 ページ)

準備 車のエンジンをかける
(「ACC ON」でも可)



電源を入れる/切る

ON : ● **PWR** または ● **MODE** を押す
OFF : 再度 ● **PWR** を押す
(● **MODE** は、2 秒以上押す)

お知らせ

電源が切れているときにディスク(マガジン)
を入れると電源が入り、再生が始まります。

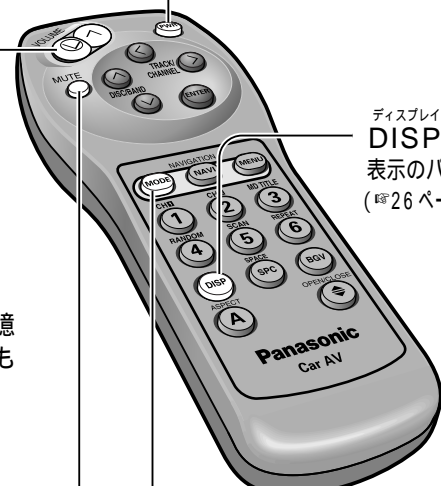
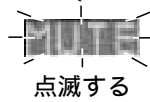
音量を調整する



モードごと(ラジオはAM、FMごと)に記憶
されるので、モードを切り替えると音量も
変わります。(インテリジェントボリューム)

一時的に消音する(ミュート)

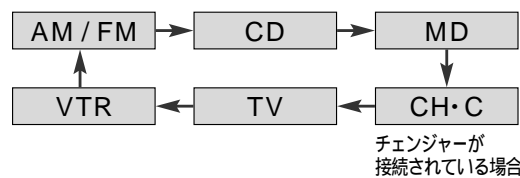
● **MUTE** を押す
(再度押すと、解除)



ディスプレイ
DISP
表示のパターンを切り替える
(P.26 ページ)

モードを切り替える

● **MODE** を押して、切り替える



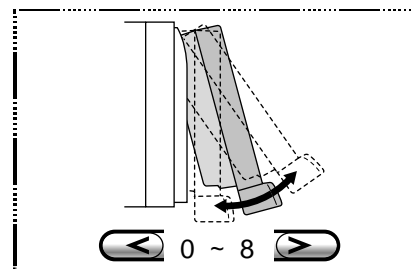
モニターの角度を調整するには (TILT)

1 ● **OPEN/CLOSE** を 1 秒以上押し、
(本体は ● **OPEN** を 1 秒以上押す)



モニター角度調整画面

2 ● **TUNE** で調整する
(リモコンは ● **UP** ● **DOWN** でも可)



「モニター全閉角度設定」(調整の起点)
によって、調整できる範囲が異なります。
● **MENU** を押す (P.30 ページ)
調整できない角度は、赤色で表示
されます。

お知らせ

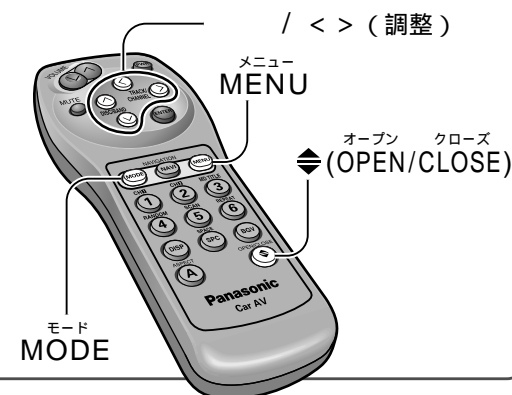
終了するには... ● **MODE** を押す

約 1 分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

調整した角度は、記憶されます。
エンジンを切る(「ACC OFF」にする)と
モニターが全閉し、次回電源を入れたとき
は、前回調整した角度で開きます。

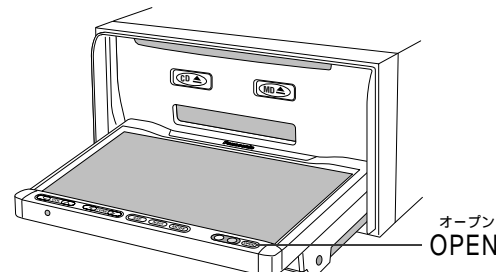
モニターの角度の数値は目安です。
角度には一定の幅があり、調整しても変化
しないことがあります。
(P.7 に調整したときなど)

より映像を見やすくするには、画面の「明
るさ」も調整してください。(P.44 ページ)



モニターを開閉するには

● **OPEN/CLOSE** を押す
(本体は ● **OPEN** を押す)
押すごとに、モニターが開閉します。



⚠ 注意

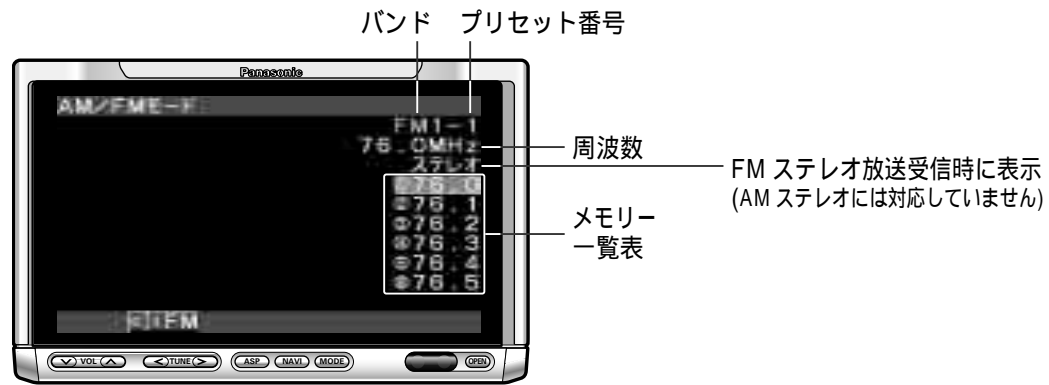
可動部に手・指を入れない

手や指を挟まれるなど、けがの
原因になることがあります。
特に乳幼児にご注意ください。
禁止

お願い

モニターを手で動かしたり、開閉を妨げたり、無理な力を加えたりしないでください。

ラジオを聞く



1 **MODE** を押して、**AM/FM モードにする**

2 **DISC/BAND** を押して、**バンド選び**

: FM バンド FM1 FM2
: AM バンド AM1 AM2

3 **TRACK CHANNEL** を押して、**放送局を選ぶ**

自動選局(シーク)したいときは
0.5 秒以上押す
受信すると、止まります。

放送局を記憶させるには

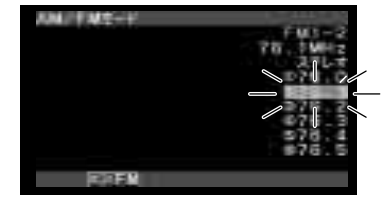
各バンド (FM1、FM2、AM1、AM2) ごとに、放送局を最大 6 局まで記憶させることができます。

一つずつ記憶させる
(プリセットメモリ)

バンドと周波数を選び (左ページ)

1 ~ **6** を 2 秒以上押す
(プリセットボタン)

周波数が 1 回点減し、
受信している放送局が
記憶されます。

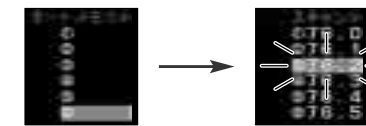


1 回点減する

受信状態のよい順に
記憶させる
(オートプリセットメモリ)

バンドを選び (左ページ)

ENTER を 2 秒以上押す



受信状態のよい放送局が、
プリセット番号 1 から順に
記憶されます。

終了すると...

記憶された放送局が約 5 秒ずつスキャンされます。

1 ~ **6** を押して、放送局を選んでください。
(プリセットボタン)



お知らせ

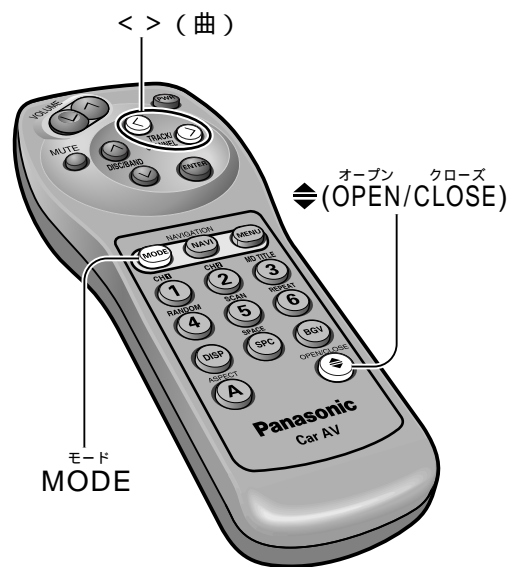
記憶された放送局は、プリセットメモリ/オートプリセットメモリの操作をするたびに更新されます。

記憶された放送局を
呼び出す
(プリセット呼び出し)

バンドを選び (左ページ)

1 ~ **6** を押す
(プリセットボタン)

CD を聞く



CD を入れる / 取り出す

OPEN/CLOSE

⇄ を押してモニターを開く
(本体は **OPEN** を押す)

CD を入れるとモニターが閉まり、再生が始まります。
(取り出したときは、約 30 秒後に閉まります。)

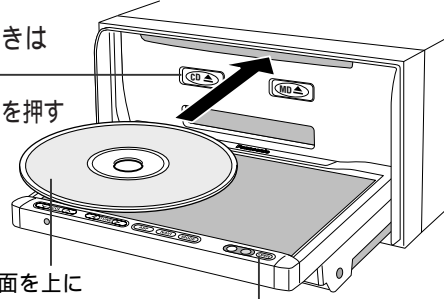
すぐに閉めたいときは...

OPEN/CLOSE

⇄ を押す (本体は **OPEN** を押す)

取り出すときは

本体の **CD** を押す



CD が入っていないことを確かめてから、入れてください。
CD の挿入口に、MD を入れないでください。
シングルアダプターを使用しないでください。
8cmCD は、アダプターなしで再生できます。

CD が入っているときは...

1 **MODE** を押して、
CD モードにする

再生が始まります。
「NO DISC」と表示されたときは...
ディスクを入れてください。

2 **TRACK CHANNEL** を押して、
曲を選ぶ

早送り/早戻しするには
0.5 秒以上押し続ける
押し続けている間、早送り/早戻しされます。

いろいろな聞きかた

順不同に聞く
(ランダム)

RANDOM

4 を押す
(再度押すと、解除)

RANDOM

曲を探す
(スキャン)
全ての曲を、
約 10 秒ずつ再生する

SCAN

5 を押す
(再度押すと、解除)

一周すると...
もとの曲の先頭に戻ります。

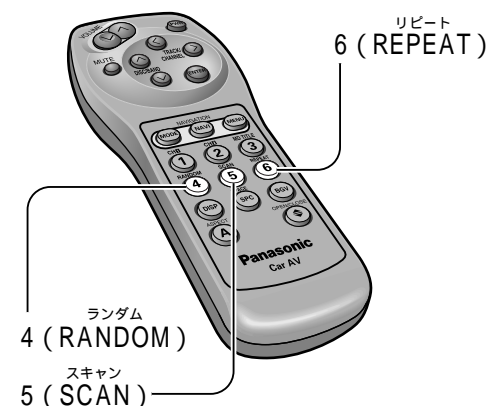
SCAN

繰り返し聞く
(リピート)

REPEAT

6 を押す
(再度押すと、解除)

REPEAT



お願い

「ディスクの取り扱いについて」(P.46 ページ)をよくお読みください。

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない
シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CD (特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けた CD-R/RW) は使用しない

お知らせ

本機は、MP3 に対応してありません。(無音再生になります)
CD テキストは、表示できません。
CD-R/RW は、使用したライティングソフトやドライブ、
またはその組み合わせによっては正常に再生されなかったり、
正しく表示されない場合があります。

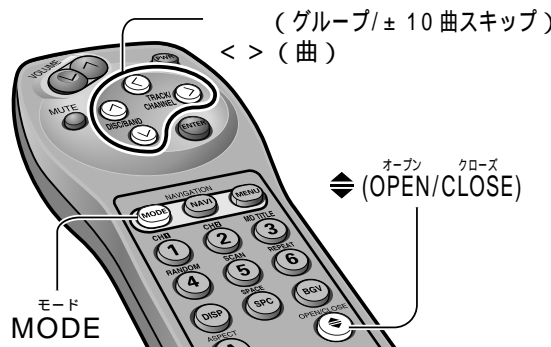
MD を聞く

選択中のグループ名* 2 曲の再生経過時間 絶対曲番号* 1



MDのタイトル情報
DT: ディスク名
GT: グループ名
TT: トラック名

各曲の録音モード
LP2: 2倍長ステレオ録音
LP4: 4倍長ステレオ録音
MONO: モノラル録音
非表示: ステレオ録音



* 1 絶対曲番号
ディスク内全てに対する曲番号が表示されます。相対曲番号(再生中のグループ内に対する曲番号)は、表示されません。
* 2 選択中のグループ名(グループ録音されている場合のみ)
どのグループにも所属していないときは「OUT OF GP」と表示され、グループ名が記録されていないときは「先頭曲番号-最終曲番号」(例: 1-12)が表示されます。

聞きたい曲をスピーディに選ぶには(グループ選曲)

MDLP で多くの曲が録音されているディスクでも、聞きたい曲が簡単に探せます。アルバム/アーティスト/ジャンルごとなどにグループ録音されている場合には、グループを選んで再生できます。

↑ ↓ を押して、曲(グループ)を選ぶ
選択された曲(グループ)のグループ名が表示されます。
(グループ名が表示されてから、選択してください。)

グループ録音されている場合
グループ単位でスキップして頭出しされる
押している間、連続して切り替わります。

グループ録音されていない場合
10 曲スキップして頭出しされる
ディスク内の総曲数(最終曲・先頭曲)を超えたときは、1 曲目から再生されます。
再生中の曲がどのグループにも属していない場合には、先頭グループの 1 曲目(先頭曲)から再生が始まります。

MD を入れる / 取り出す

OPEN/CLOSE
◀ ▶ を押してモニターを開く
(本体は OPEN を押す)
MD を入れるとモニターが閉まり、再生が始まります。
(取り出したときは、約 30 秒後に閉まります。)

すぐに閉めたいときは...
OPEN/CLOSE
◀ ▶ を押す(本体は OPEN を押す)

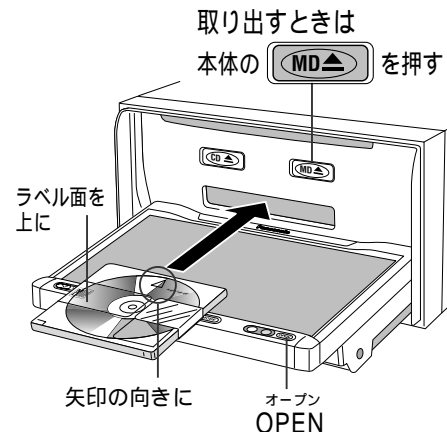
MD が入っているときは...

1 MODE を押して、MD モードにする

再生が始まります。
「NO DISC」と表示されたときは...
ディスクを入れてください。

2 TRACK/CHANNEL を押して、曲を選ぶ

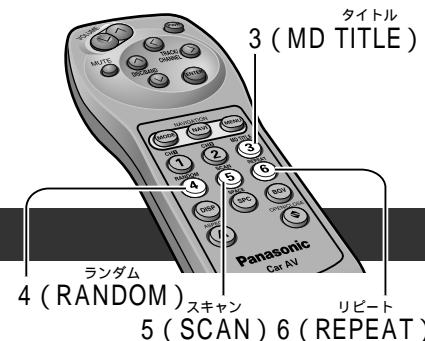
早送り/早戻しするには
0.5 秒以上押し続ける
押している間、早送り/早戻しされます。



取り出すときは
本体の MD を押す
ラベル面を上
矢印の向きに オープン OPEN

お知らせ
MD が入っていないことを確かめてから、入れてください。
CD の挿入口に、MD を入れないでください。

お知らせ
録音モードが混在しているディスクも再生できます。
MDLP モードは標準モードと比較して、音質に若干の変化があります。あらかじめご了承ください。
100 以降のグループは、グループとして認識されません。(グループ選択やグループ名表示ができません。)



お知らせ
本機ではグループ登録できません。
グループの編集(曲の追加・削除・移動など)を行った場合には、グループ機能が正しく動作しなかったり、使えないことがあります。グループ登録しなおしてください。

グループ管理情報について
グループ機能を搭載していない録音機でも、ディスク名の記録領域へ一定の法則に従ってグループ管理情報を入力することにより、グループ登録できます。(最大 99 グループまで) グループ機能未対応の機器で再生した場合には、文字列がそのままディスク名として表示されます。グループ管理情報が正しいフォーマットで記述できていない場合には、思いどおりにグループ化されなかったり、グループ機能が使えないことがあります。

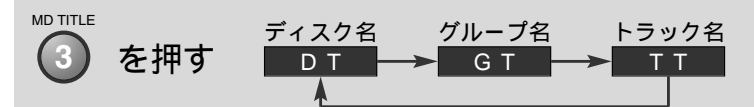
グループ管理情報(文字列)の例
①「0 ;」で、ディスク名を認識
0 ; My_BEST//1-5 ; Pops//6-9 ; Rock//...
②③「数字 - 数字 ;」で、グループの先頭曲 - 最終曲を認識
グループごとの区別、および最後のグループの末尾には、必ず「//」を付ける。

いろいろな聞きかた

順不同に聞く (ランダム)	全ての曲	RANDOM 4 を押す (再度押すと、解除) RANDOM
	再生中のグループ	RANDOM 4 を 2 秒以上押す (再度 2 秒以上押すと、解除) G-RAND
曲を探す (スキャン)	全ての曲を、 約 10 秒ずつ再生する	SCAN 5 を押す (再度押すと、解除) SCAN 一周すると... もとの曲の先頭に戻ります。
繰り返し聞く (リピート)	再生中の曲	REPEAT 6 を押す (再度押すと、解除) REPEAT
	再生中のグループ	REPEAT 6 を 2 秒以上押す (再度 2 秒以上押すと、解除) G-REP

お知らせ
グループランダム/グループリピートは、グループ登録されている MD (再生中の曲がグループに属している場合) に限り有効な機能です。

MD のタイトル表示を切り替えるには



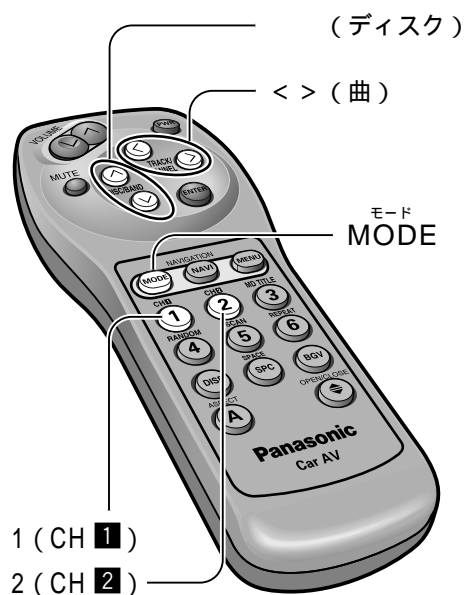
タイトル表示について
スキャン中は表示されません。
現在選択されている表示パターンによっては、約 10 秒間だけタイトル表示されるため、長いタイトルの場合には末尾までタイトルが表示されないことがあります。
英数字/カタカナなどが、17 文字(スクロール時は最大 48 文字)まで表示できます。タイトルが 18 文字以上のときは、一周スクロールしたあと、先頭から 17 文字までを表示して停止します。
表示できない文字は、空白スペースになったり、文字化けする場合があります。
「NO TITLE」と表示されたときは... タイトル情報が記録されていません。
「NO GROUP」と表示されたときは... グループ録音されていません。
「OUT OF GROUP」と表示されたときは... 再生中の曲がどのグループにも属していません。
グループ名が記録されていないときは、先頭曲番号-最終曲番号が表示されます。(例: 1-12)

使いかた

チェンジャーで CD/MD を聞く



MDのタイトル情報
DT:ディスク名
TT:トラック名



準備 CDチェンジャーやMDチェンジャーを接続する。(P.56 ページ)

1 **MODE** を押して、**CH・Cモードにする**
再生が始まります。
「NO MAGAZIN」と表示されたときは...
チェンジャーにマガジン(ディスク)を入れてください。

2 **DISC/BAND** を押して、**ディスクを選び**

3 **TRACK/CHANNEL** を押して、**曲を選ぶ**
早送り/早戻しするには
0.5秒以上押し続ける
押し続けている間、早送り/早戻しされます。

お知らせ

CDチェンジャー：CD-Rは機種により使用できないものがあります。CD-RWは使用できません。MP3には、対応していません。
MDチェンジャー：MDLPおよびグループ機能には、対応していません。(MDLPモードで録音された曲は、無音再生になります。)
ディスクの取り扱いについては、46～47ページをお読みください。

いろいろな聞きかた

順不同に聞く (ランダム)	全ての曲	RANDOM 4 を押す (再度押すと、解除)	RANDOM
	再生中のディスク	RANDOM 4 を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	D-RAND
曲を探す (スキャン) 約10秒ずつ再生する	全ての曲	SCAN 5 を押す (再度押すと、解除)	SCAN 一周すると... もとの曲の先頭に戻ります。
	各ディスクの1曲目	SCAN 5 を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	D-SCAN 一周すると... もとのディスクの先頭に戻ります。
繰り返し聞く (リピート)	再生中の曲	REPEAT 6 を押す (再度押すと、解除)	REPEAT
	再生中のディスク	REPEAT 6 を2秒以上押す (再度2秒以上押すと、解除)	D-REP

使いかた

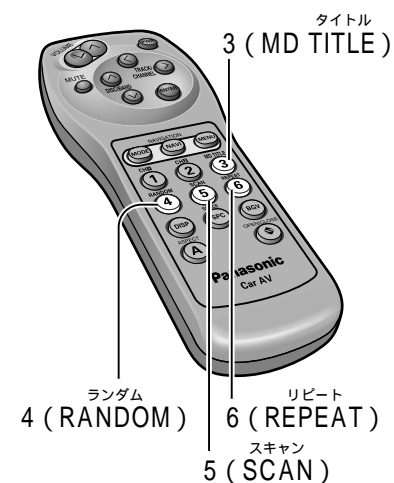
チェンジャーを2台使う場合は(ツインチェンジャー)

準備 ツインチェンジャーコントロールユニット(CA-LA9D)で、CDチェンジャーやMDチェンジャーを2台接続する。(P.56 ページ)

CH 1 または CH 2 を押して、
チェンジャーを切り替える

CH 1 — チェンジャー番号

マガジン(ディスク)を取り出すと...
もう一方のチェンジャーに切り替わります。



MDのタイトル表示を切り替えるには

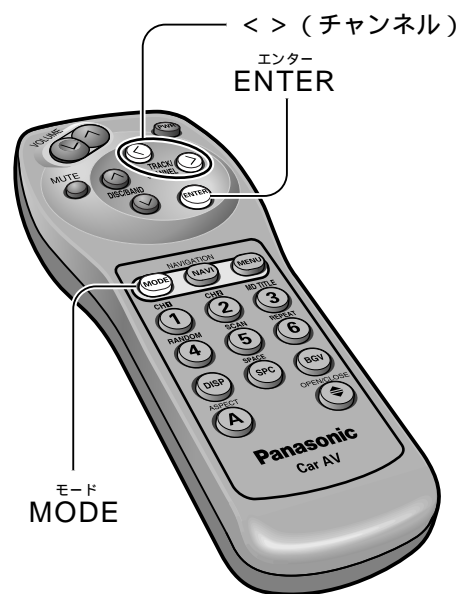
MD TITLE
3 を押す
ディスク名 DT ←→ トラック名 TT

タイトル表示について

スキャン中は表示されません。
現在選択されている表示パターンによっては、約10秒間だけタイトル表示されるため、長いタイトルの場合には末尾までタイトルが表示されないことがあります。
英数字/カタカナなどが、17文字(スクロール時は最大48文字)まで表示できます。タイトルが18文字以上のときは、一周スクロールしたあと、先頭から17文字までを表示して停止します。
表示できない文字は、ブランクスペースになったり、文字化けする場合があります。「NO TITLE」と表示されたときは... タイトル情報が記録されていません。

CDチェンジャーは、タイトル(CDテキスト)を表示できません。

テレビを見る



1 MODE を押して、
TV モードにする

2 TRACK CHANNEL を押して、
チャンネルを選ぶ

自動選局(シーク)したいときは
0.5 秒以上押す
受信すると、止まります。

警告

運転者は走行中に操作をしない、
また画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画面・表示の注視
は、前方不注意による交通事故の
原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから
操作してください。

受信中のチャンネルなどを確かめるには

ENTER を押す

約 10 秒間、表示されます。

チャンネルを記憶させるには

チャンネルを自動で
探し、記憶させる
(オートメモリ)

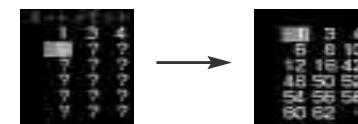
最大 18 局まで
記憶させることができます。

▲ ▼ を 2 秒以上押す

: 1ch からサーチする

: 62ch からサーチする

チャンネル番号順に記憶されます。



オートメモリ中

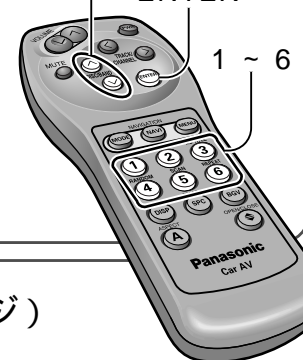
終了時

チャンネルを呼び出すには...

▲ ▼ を押して、選ぶ

(オートメモリ)

ENTER



チャンネルを
一つずつ記憶させる
(プリセットメモリ)

最大 6 局まで
記憶させることができます。

チャンネルを選び (左ページ)

1 ~ 6 を 2 秒以上押す
(プリセットボタン)

受信しているチャンネルが記憶されます。

チャンネルを呼び出すには...

1 ~ 6 を押して、選ぶ
(プリセットボタン)

お知らせ

記憶されたチャンネルは、オートメモリ/プリセットメモリの操作をするたびに更新されます。
電波状況によっては、映りのよくないチャンネルを受信し、記憶されることもあります。

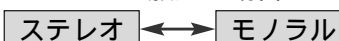
使いた

テレビ放送の音声を切り替えるには

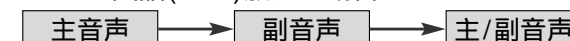
1 ENTER を押す

2 チャンネルの表示中(約 10 秒間)に
再度 ENTER を押して切り替える

ステレオ放送の場合



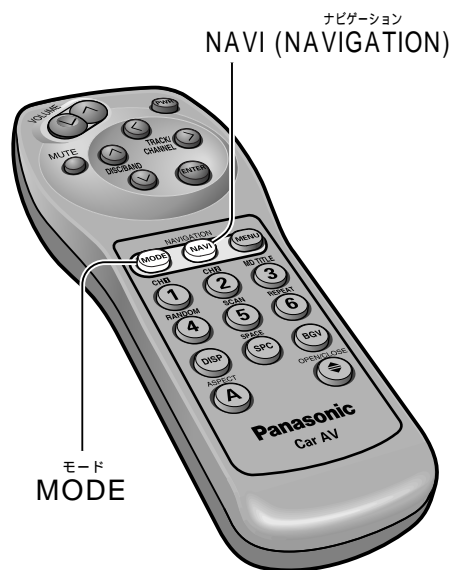
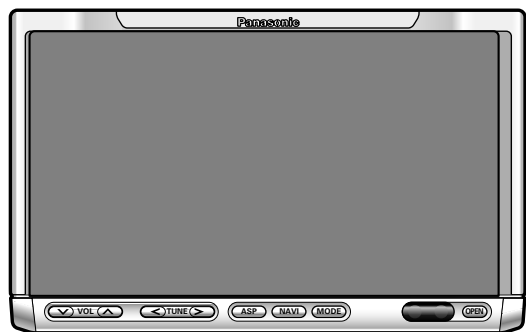
2カ国語(二重)放送の場合



お知らせ

モノラル放送の場合は、
音声の種類が表示されません。

他の機器と組み合わせる



カーナビゲーションと組み合わせた場合は

準備 カーナビゲーションを接続してください。(※57 ページ)
ナビゲーション入力の設定を、確かめてください。(※30 ページ)

接続可能なカーナビゲーションは、下記の機種です。
(2002年6月現在)
CN-DV2000D / DV2000TD / DV2020TD / DV2500D / DV25201D / DV3020D / DV2100D / DV2200D

お願い

カーナビゲーション側の操作で、モニター設定の「モニター選択」と「画面位置調整」をしてください。
(※カーナビゲーションの取扱説明書)
モニター選択は、「TYPE2」を選んでください。

DVDビデオプレーヤーまたはビデオカメラなどと組み合わせた場合は

準備 DVDビデオプレーヤー、またはビデオカメラなどを接続してください。(※60 ページ)

車載用カメラと組み合わせた場合は

準備 車載用カメラ、リバースコードを接続してください。(※59 ページ)
カメラ入力の設定を、確かめてください。(※30 ページ)

NAVIGATION

NAVI を押して、ナビゲーションを ON にする
(再度押すと、解除：ナビゲーション OFF)

ナビ付属リモコンで操作する場合は
ナビ/テレビ切り替えスイッチを「NAVI」側にして、**モード** を押す

ナビゲーション画面が表示されます。

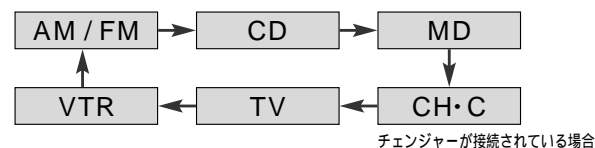
例) 現在選択中のモードが TV のとき



ナビゲーション ON

ナビゲーションが ON のときに

MODE を押して、モードを切り替えると
ナビゲーション画面が表示されたまま、本機のモードが切り替わります。



MODE を押して、VTR モードにする

接続した機器で再生した映像が表示されます。

ビデオコントロールコードを接続している場合には
接続した機器 (DVD プレーヤーなど) の電源が ON になると、本機が自動的に VTR モードに切り替わります。

車のシフトレバーを
“R (リバース)” に入れる

車載用カメラが ON になり、映像が表示されます。

お知らせ

カーナビゲーションの接続が VTR 入力の場合は、VTR モードに切り替えたときも表示されます。

DVD ビデオプレーヤー内蔵のカーナビゲーションで DVD ビデオを再生するときはナビゲーションを ON にして、ナビ付属リモコンで操作してください。

カーナビゲーションを操作するときは、ナビ/テレビ切り替えスイッチを「NAVI」側にしてください。

2台目のモニターを接続している場合

2台目のモニターには、本機と同じモードの映像が出力されます。ただし、RGB 入力のナビゲーション画面は出力されません。配線のしかたは 60 ページをご覧ください。

お知らせ

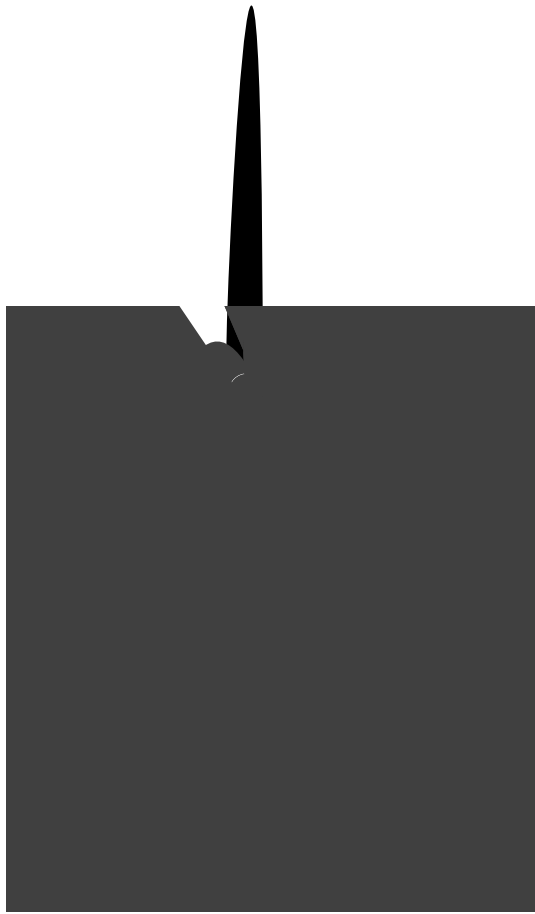
接続した機器側で操作してください。

使用しないとき (DVD ビデオを再生していないときなど) は、接続した機器の電源を OFF にしてください。

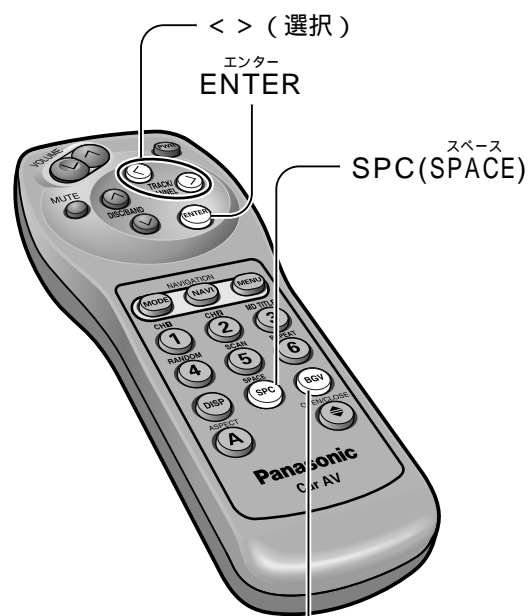
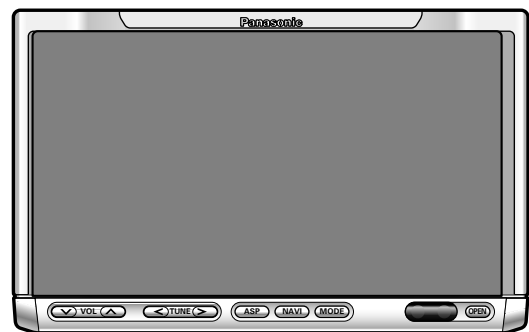
お知らせ

モニターの電源が OFF のときも、表示されます。

VTR 入力の場合は、VTR モードに切り替えたときも、表示されます。



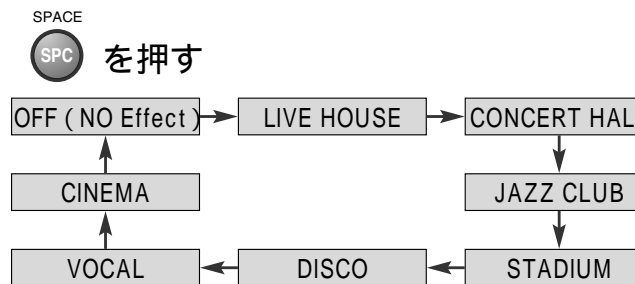
便利な機能



BGV(バックグラウンドビジュアル)
(ビジュアル設定)

音場を再現させる (スペース)

初期設定：OFF (NO Effect)
設定範囲：7 種類 + 「OFF」
実際に演奏会場にいるような音場
(スペース)を車室内に再現できます。



お知らせ

モードごと (ラジオは AM・FM ごと) に設定できます。
設定した音場に対して、さらに空間の広がり調整できます。(ワイド/ナロー 38 ページ)

設定した映像を 常に表示させておく (ビジュアル設定)

初期設定：自動
モードの切り替えに関わらず、常に設定した映像を表示させておくことができます。

1 BGV を押す (再度押すと、解除)



ビジュアル設定画面

2 < > を押して、項目を選択する

- 自動 : 音声とともに映像のモードも切り替わる
- TV : 常にテレビの映像が表示される
- VTR : 常にビデオ入力の映像が表示される
- CAMERA : 常にカメラ入力の映像が表示される

TV/VTR/CAMERA を選んだときは、音声のモードだけが切り替わります。

3 ENTER を押して、決定する

お知らせ

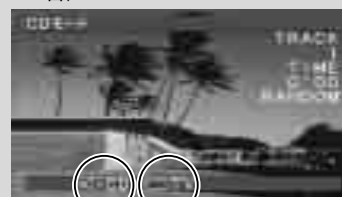
約 1 分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

ビジュアル設定が「TV」になっていても、音声 AM/FM モードのときは、テレビの映像が表示されません。

ナビゲーションが ON のときは、ビジュアル設定に関わらず、ナビゲーション画面が表示されます。(2 台目のモニターには、ビジュアル設定の映像が表示されます。)

ビジュアル設定が「TV」のときは 音声は TV モード以外になっても、テレビを操作できます。

例)映像：TV (ビジュアル設定)
音声：CD



音声 映像

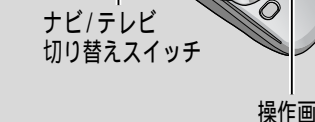
- ① BGV を押して、ビジュアル設定画面を表示させる
- ② 再度 BGV を押して、ビジュアル設定画面を解除する
- ③ テレビのチャンネル表示中 (約 10 秒間) に、操作する (テレビの操作 22 ~ 23 ページ)

ナビ付属リモコンで操作する場合は

ナビ/テレビ切り替えスイッチを「TV」側にして、 を押す。

押すごとに、切り替わります。

テレビのチャンネル表示中 (約 10 秒間) に、操作してください。



音声側 ↔ 映像側 (TV)

使
い
か
た

いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



- ① **←** **→** と **↑** **↓** で項目を選択し
- ② **ENTER** を押す

3 設定する



- ① **←** **→** と **↑** **↓** で選択・調整し
- ② **ENTER** を押す

お知らせ

終了するには... **MODE** を押す
調整画面で、約 1 分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

モニター的全閉角度設定について
数値は目安です。角度には一定の幅があるため、
調整しても変化しないことがあります。
(2 3 に調整したときなど)

モニターを閉じたときの 角度を設定する

初期設定： 7
調整範囲： 0 ~ 7 (8 段階)

モニター全閉角度設定
を選び

モニターが閉じているとき (全閉時) の
角度を調整する

エラーメッセージが表示されたときは...
障害物 (シフトレバーなど) に接触しています。
メッセージが出ないように調整してください。

モニターの角度を調整すると、
画面が見やすくなります。

OPEN/CLOSE
← を 1 秒以上押す (※13 ページ)
(本体は **OPEN** を 1 秒以上押す)

カーナビゲーションとの 接続について設定する

初期設定： ナビゲーション入力RGB
ナビゲーション音量4
ナビミュートレベル . . . 10 (dB)

ナビゲーション音量とナビミュートレベルは
ナビゲーション入力が「RGB」のときのみ、
設定できます。

ユーザー設定
から

ナビゲーション設定
を選び

ナビゲーション入力

- RGB** : RGB 入力端子に接続した場合、使用しない場合
- VTR** : ビデオ入力端子に接続した場合
- CAMERA** : カメラ入力端子に接続した場合

ナビゲーション音量

カーナビゲーション側で設定したあとの補足調整にご使用ください。

- 0** : ナビゲーションの音声を出力しない
- 1 2 3 4 5** : 音量「小」~「大」

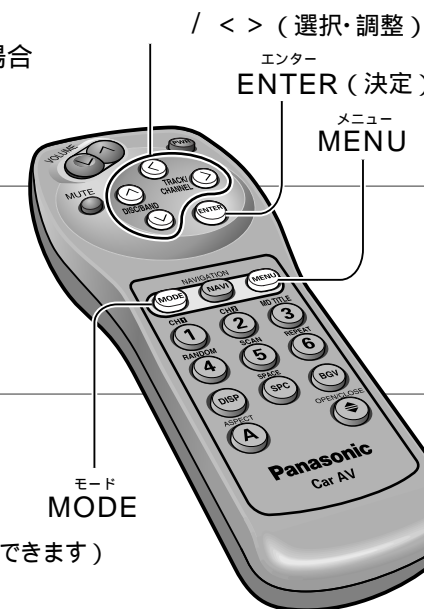
ナビミュートレベル (dB)

音声案内時の本機のミュート音量を設定する
ナビミュートコードを接続してください。(※57 ページ)

- 0** : 通常の音量のまま (音声案内時も本機の音量調整ができます)
- 10** : 本機の音量が、約 1/3 に下がる
- 20** : 本機の音量が、約 1/10 に下がる
- : 本機の音量が、0 (無音) になる

- OFF** : 使用しない場合
- VTR** : ビデオ入力端子に接続した場合
- CAMERA** : カメラ入力端子に接続した場合

カメラ入力
を選び



いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



- ① **<** **>** と **↑** **↓** で項目を選択し
- ② **ENTER** を押す

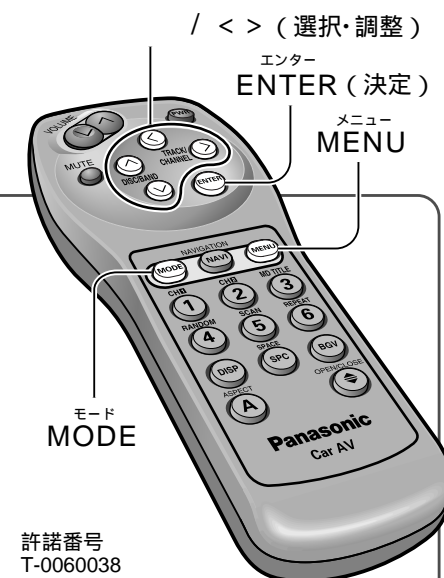
3 設定する



- ① **<** **>** と **↑** **↓** で選択・調整し
- ② **ENTER** を押す

お知らせ

終了するには... **MODE** を押す
調整画面で、約 1 分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります



使いかた

動作中に鳴らす曲を選ぶ

8 種類の動作それぞれに、曲または効果音を設定することができます。

設定範囲： 11 種類の曲(自作 2 曲含む)
+ 6 種類の効果音 + 「OFF」

初期設定：

オープニング ... ゼビウス	モニター開閉 ... 効果音 3
エンディング ... 効果音 6	CD EJECT ... 効果音 2
モード切替 ... 効果音 4	MD EJECT ... 効果音 1
サーチ中 ... TRUTH	アラーム ... OFF

メロディ選曲
を選び

動作(イベント)を選び、好みの曲または効果音を設定してください。

表示	曲名	作曲者名
TUNAMI	TSUNAMI	桑田佳祐
ゼビウス	ゼビウス	NAMCO
セーラーふくをぬがさないで	セーラー服を脱がさないで	佐藤 準
スターウォーズ	STAR WARS(MAIN TITLE)	JOHN WILLIAMS
G1 ファンファーレ	中央競馬ファンファーレ	宮川 泰
TRUTH	TRUTH	安藤まさひろ
ぜにがたけいぶのテーマ	銭形マーチ	大野雄二
はるいちばん	春一番	徳口雄右
ペッパーけいぶ	ペッパー警部	都倉俊一
効果音 1 ~ 6	効果音 1 ~ 6	—
OFF (鳴らさない)	—	—
オリジナル 1、2	自作曲 (※ 次の項目)	—

許諾番号
T-0060038

ユーザー設定

動作中に鳴らすメロディを自分で作曲する

自作曲(オリジナルメロディ)を作れます。

入力範囲： 3 オクターブ
2 曲(1 曲につき最大 64 音)
曲のテンポは変更できません。

ユーザー設定
から

メロディ作曲
を選び



番号を選び

音/休符
(3 オクターブ)
音/休符の長さ
入力した数



メロディを作曲、編集する

高音
低音
半音上がる

メロディを作曲するには

- ① 音/休符を選んで決定し、
カーソルが、
長さの入力へ移ります。(「4 分」の位置)
- ② 長さを選んで決定する。
カーソルが、
次の入力へ移ります。

メロディを再生するには...

テスト再生 を選ぶ

メロディを編集するには

- 進む** : 次の音に進む
- 戻る** : 前の音に戻る
- クリア** : 選択した音を削除する

音階全てを、一斉に削除することはできません。
1 つずつ削除してください。

音/休符を挿入するには...

カーソルを挿入したい位置に合わせて、入力します。
音/休符は、カーソルの前に入力されます。

いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

操作時の音を選ぶ (ビープ音設定)

初期設定： BEEP 選択1
BEEP 音量2

時計やアラームを調整する

初期設定： 表示OFF
時刻調整0 時 0 分
アラーム設定0 時 0 分

2 項目を選び



- ① **<** **>** と **↑** **↓** で項目を選択し
- ② **ENTER** を押す

ユーザー設定
から

BEEP 設定
を選び

時計設定
を選び

3 設定する



- ① **<** **>** と **↑** **↓** で選択・調整し
- ② **ENTER** を押す

BEEP 選択

OFF : ビープ音を出さない
1 2 3 4 : ビープ音を出す (パターン「1」~「4」)

BEEP 音量

1 : 音量 小
2 : 音量 中
3 : 音量 大

表示

OFF : 時計を表示しない
ON : 時計を表示する (未調整のときは、0:00 が点滅)

時刻調整

時 / 分を調整する (24 時間表示)

秒リセット

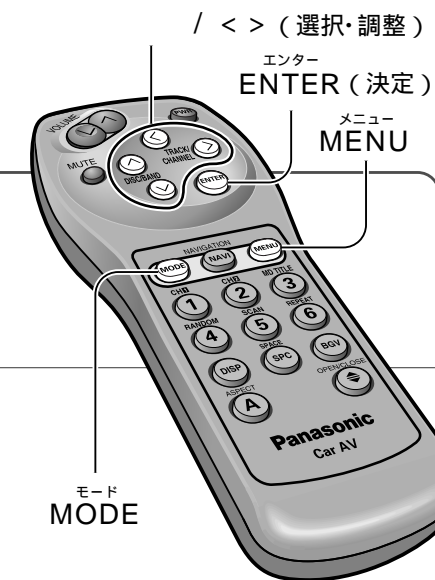
秒を 0 にする (リセット)
時計表示が 1 回点滅し、時計が動き始めます。

アラーム設定

時 / 分を調整する (24 時間表示)
メロディ選択で設定した曲または効果音が、設定した時刻に鳴ります。

お知らせ

終了するには... **MODE** を押す
調整画面で、約 1 分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります



いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



- ① **←** **→** と **↑** **↓** で項目を選択し
- ② **ENTER** を押す

3 設定する



- ① **←** **→** と **↑** **↓** で選択・調整し
- ② **ENTER** を押す

お知らせ

終了するには... **MODE** を押す
調整画面で、約 1 分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

音楽や気分に合った音質を選ぶ

(ヒューマンイコライザー)

複雑な調整をしなくても、パターンを選ぶだけで音質を設定できます。

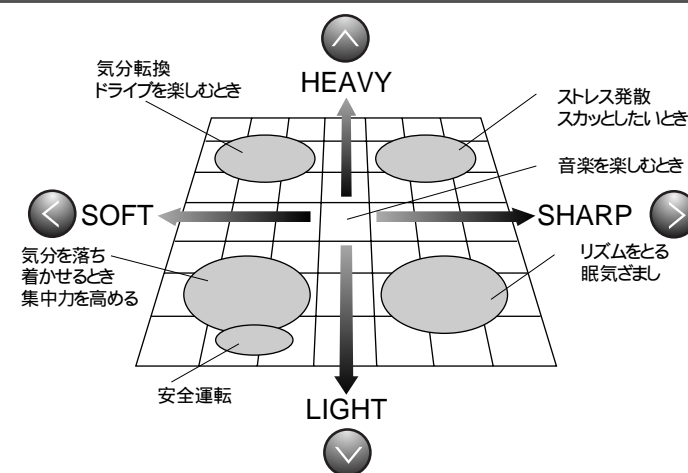
縦軸 ... 低音域の豊かさを調整する
横軸 ... 高音域の明快さを調整する

初期設定：FLAT (すべて 0)

調整範囲：各 0 ~ 3 (49 パターン)

HUMAN-EQ

を選び



音質調整

から

周波数ごとのレベル調整で音質を調整する

(グラフィックイコライザー)

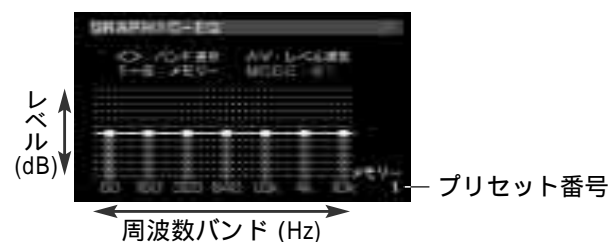
各周波数帯域 (7 バンド) のレベルを調整し、音質を 6 種類まで記憶させることができます。

初期設定：FLAT (各周波数とも 0 dB)

調整範囲：- 12 ~ + 12 (2 dB ごと)

GRAPHIC-EQ

を選び



記憶させるには (GEQ プリセットメモリ)

周波数バンドごとにレベルを調整し、

1 ~ **6** を 2 秒以上押す

(プリセットボタン)

記憶されると、プリセット番号が表示されます。

呼び出すには

GRAPHIC-EQ 調整画面のときに **1** ~ **6** を押す

(プリセットボタン)

お知らせ

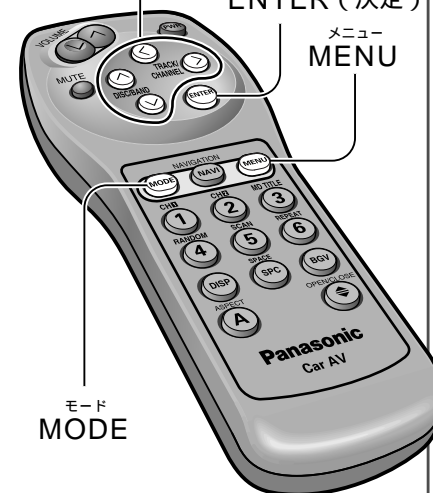
記憶されたレベルは、プリセットメモリの操作をするたびに更新されます。

/ < > (選択・調整)

ENTER (決定)

メニュー

MENU



いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



- ① **<** **>** と **↑** **↓** で項目を選択し
- ② **ENTER** を押す

3 設定する



- ① **<** **>** と **↑** **↓** で選択・調整し
- ② **ENTER** を押す

お知らせ

終了するには... **MODE** を押す
調整画面で、約 1 分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

音
質
調
整

音場の広がり調整する (ワイド/ナロー)

初期設定：0
調整範囲：各 3 ステップ

左右前後のスピーカーの 音量バランスを調整する (バランス/フェダー)

初期設定：センター(0)
調整範囲：各 15 ステップ

音像定位を聞き手の乗車 位置に合わせる (シートポジション)

初期設定：OFF

低音域を増強する (スーパーダイナミックバスブースト)

内蔵アンプ接続の 4 スピーカーから出力される低音を増強して、重低音が楽しめます。
初期設定：OFF

音質調整
から

WIDE/NARROW
を選び

BAL/FAD
を選び

POSITION
を選び

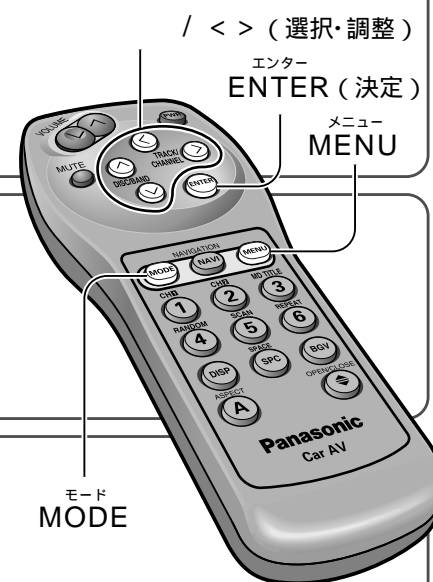
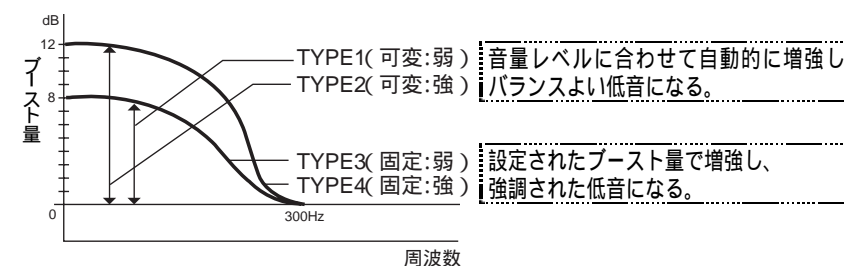
SDBB
を選び

> : 音場が広い空間の雰囲気になる (WIDE)
< : 音場が狭い空間の雰囲気になる (NARROW)
音場 (スペース 28 ページ) も併せて設定してください。

BAL (バランス調整)
L ch : 左側が強調される **R ch** : 右側が強調される
FAD (フェダー調整)
REAR : 後方が強調される **FRONT** : 前方が強調される

OFF : 全席
LEFT : 前席左側 **RIGHT** : 前席右側
FRONT : 前席 **REAR** : 後席

OFF : 低音域を増強しない通常の出力
TYPE 1 : 可変・弱 [AUTO] **TYPE 2** : 可変・強 [AUTO]
TYPE 3 : 固定・弱 **TYPE 4** : 固定・強



使
い
か
た

いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



- ① ◀ ▶ と ▲ ▼ で項目を選択し
- ② ENTER を押す

3 設定する



- ① ◀ ▶ と ▲ ▼ で選択・調整し
- ② ENTER を押す

お知らせ

終了するには... MODE を押す
調整画面で、約 1 分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

音質調整

モニター内蔵スピーカー (センタースピーカー) の出力を調整する

初期設定：センタースピーカー音量
..... ± 0 dB
センタースピーカーディレイ時間
..... ± 0 ms

音質調整

から

センタースピーカー

を選び

センタースピーカー音量

調整範囲： - 、 - 10 dB ~ + 10 dB (2 dB ごと)

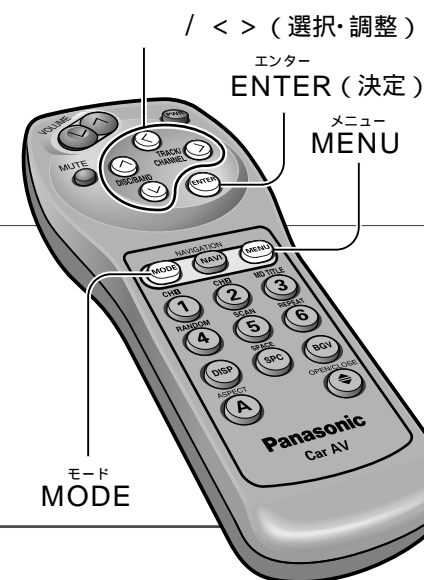
- 「+」：音量が大きくなる
- 「-」：音量が小さくなる
- ：音が出なくなる

センタースピーカーディレイ時間

音の出るタイミングを調整する

調整範囲： - 10 ms ~ + 10 ms (1 ms ごと) 1 ms = 0.001 秒

- 「+」：他のスピーカーよりも、出力が遅くなる
- 「-」：他のスピーカーよりも、出力が早くなる
- 0 ：他のスピーカーと出力のタイミングが同じになる



使いかた

センタースピーカー音量の調整のしかた

調整する前に、DSP 効果のない状態に戻してください。

準備

モニター内蔵スピーカー (センタースピーカー) のディレイ時間を「0 ms」にする

音場の設定を「OFF (No Effect)」にする (スペース 28 ページ)

音場空間の広がりを「0」にする (ワイド/ナロー 38 ページ)

モニター内蔵スピーカー (センタースピーカー) の音量レベルを調整する
ヴォーカルなどの中音域の音像が、フロントの中央付近に定位するように調整してください。

DSP 効果を調整する (音場、音場空間の広がり)

再度、モニター内蔵スピーカー (センタースピーカー) の音量レベルを調整する
DSP 効果(音場、音場空間の広がり)に合わせてディレイ時間を調整し、音量レベルを再調整してください。

いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



- ① **<** **>** と **↑** **↓** で項目を選択し
- ② **ENTER** を押す

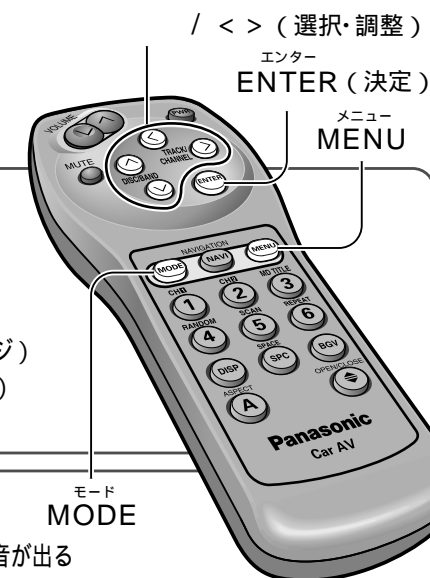
3 設定する



- ① **<** **>** と **↑** **↓** で選択・調整し
- ② **ENTER** を押す

お知らせ

終了するには... **MODE** を押す
調整画面で、約 1 分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります



リヤースピーカーを
サブウーファーとして活用する
(スーパーベースコントロール・サブウーファー)
初期設定：OFF

プリアウトの設定をする
(デジタルダイナミックベースコントロール)
システムに合わせて、プリアウトの設定をして
ください。

初期設定：PRE-OUT (プリアウト設定)
.....SUB-W
DDBC ディレイ時間
.....± 0 ms
DDBC カットオフ周波数
.....FLAT
DDBC 音量
.....± 0 dB

SUPER-BASS
を選び

音質調整
から

DDBC
を選び

- OFF** : 通常の出力のまま ステレオ
- ON** : サブウーファー用 (低音域のみ) の出力になる モノラル

「ON」にした場合は
音量レベルは、フェダー (音量バランス) で調整してください。(※38 ページ)
ディレイ時間とカットオフ周波数は、「DDBC」で調整する。(※ 次の項目)
調整は、サブウーファー出力やプリアウト (リヤ) にも連動します。

PRE-OUT (プリアウト設定)

- FRONT** : プリアウト (フロント) ステレオ ... フロントスピーカーの音が出る
システムアップ用スピーカーを接続した場合
- SUB-W** : サブウーファー出力 モノラル ... サブウーファーの音が出る
サブウーファースピーカーを接続した場合

DDBC ディレイ時間

調整範囲： - 10 ms ~ + 10 ms (1 ms ごと) 1 ms = 0.001 秒
「+」：他のスピーカーよりも、出力が遅くなる
「-」：他のスピーカーよりも、出力が早くなる
0 : 他のスピーカーと出力のタイミングが同じになる

DDBC カットオフ周波数

調整範囲： 4 段階 (FLAT 含む)
FLAT : 高音域をカットしない
100 **150** **200** : 高音域をカットする

DDBC 音量

調整範囲： - 、 - 10 dB ~ + 10 dB (2 dB ごと)
「+」：音量が大きくなる
「-」：音量が小さくなる
- : プリアウト端子に接続したアンプから音が出なくなる

「SUPER-BASS」と「DDBC」の設定は、
連動しています。

	SUPER-BASS	OFF	ON	OFF	ON
DDBC	プリアウト設定	FRONT	SUB-W		
	ディレイ時間	×			
	カットオフ周波数	×			
	音量		×		

調整可： 調整不可：×

別売の外部アンプに内蔵された
調整機能を使用する場合は...

本機のディレイ時間を「0 ms」、
カットオフ周波数を「FLAT」にしてください。

いろいろな設定と調整

1 メニュー画面から



MENU を押す

2 項目を選び



- ① **<** **>** と **↑** **↓** で項目を選択し
- ② **ENTER** を押す

3 設定する



- ① **<** **>** と **↑** **↓** で選択・調整し
- ② **ENTER** を押す

お知らせ

終了するには... **MODE** を押す
調整画面で、約 1 分間何も操作しないと...
もとの画面に戻ります

画面調整

画面(バックライト)の明るさを設定する
初期設定: 自動

コントラスト(白黒の差)を調整する
初期設定: ± 0
調整範囲: - 15 ~ + 15

映像の明るさを調整する
初期設定: ± 0
調整範囲: - 15 ~ + 15

色の濃淡を調整する
初期設定: ± 0
調整範囲: - 15 ~ + 15

肌色をきれいに調整する
初期設定: ± 0
調整範囲: - 15 ~ + 15

画面調整から

ディマー
を選び

自動 : 周囲の明るさに合わせて自動調光される
1 2 3 4 : 暗くなる(1) ~ 明るくなる(4)

コントラスト
を選び

「+」: 白黒の差がはっきりする
「-」: 白黒の差が小さくなる

明るさ
を選び

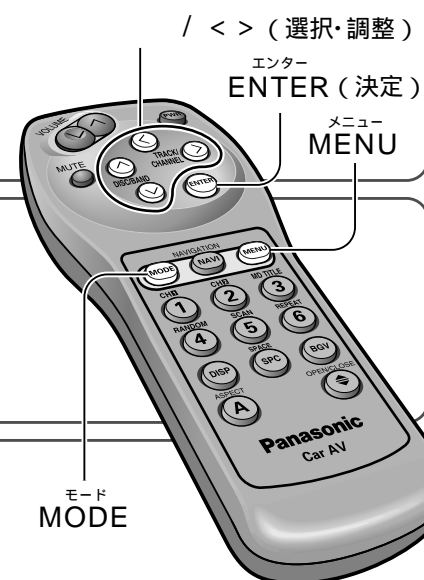
「+」: 明るくなる
「-」: 暗くなる

色の濃さ
を選び

「+」: 濃くなる
「-」: 薄くなる

色あい
を選び

「+」: 緑色が強くなる
「-」: 赤色が強くなる



使いかた

ディスクの取り扱いについて

お手入れのしかた

CD (コンパクトディスク)



のマークがついているものを、
ご使用ください。

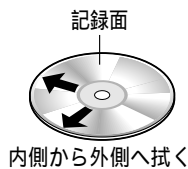
持ちかた

ディスクのセンターホール
と外周部分を持ちます。



CD が汚れたら

水を含ませた柔らかい布で
拭いたあと、乾いた布で
拭いてください。



お知らせ

データを読み取って再生が始まるまでに、時間
がかかる場合があります。

取り扱いのお願い

CD そのものの破損、および機器の故障の原因になる
ことがありますので、次のことをご守りください。

- 記録面に手を触れない
- CD が回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- CD を曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

CD-R/RW ディスクのご使用について

再生可能な CD-R/RW ディスクは、通常の音楽 CD
の形式 (CD-DA) で記録したディスクに限ります。

- CD レコーダー (CD-R/RW ドライブ) で記録した CD-R/RW ディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RW ディスクは通常の音楽 CD に比べて高温多湿環境に弱いので、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていない CD-R/RW ディスクは再生できません。
- CD-DA 以外のデータ (ビデオ CD や MP3 など) は、再生できません。

⚠ 注意

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない



禁止

特殊形状 (ハート型・八角形・カード型など) の CD や、プロテクトフィルム・スタビライザーなどの CD アクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CD は使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に、市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けた CD-R/RW は、使用しないでください。

コピーコントロール CD について

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽 CD が発売されています。これは、現状 CD 規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証致しかねます。通常の CD を用いた再生には支障がなく、コピーコントロール CD を用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロール CD の発売元にお問い合わせいただきますよう、お願い致します。

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないでディスクに複製 (録音)、配布、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

MD (ミニディスク)

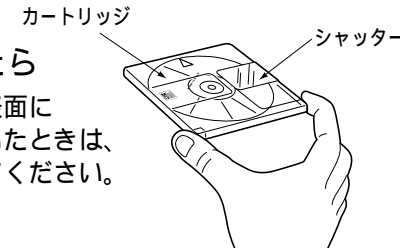
お知らせ

データを読み取って再生が始まるまでに、若干
時間がかかる場合があります。

録音済みの音楽用 MD をご使用ください。

MD が汚れたら

カートリッジの表面に
汚れやゴミがついたときは、
乾いた布で拭いてください。



シャッターに手・指を触れないでください。
再生後、高温になることがあります。

取り扱いのお願い

MD そのものの破損、および機器の故障の原因になる
ことがありますので、次のことをご守りください。

- シャッターを開けない
無理に開けると破損することがあります。
中の円盤には、直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らない
- ラベルのはがれかかった MD は使用しない
本機の中で引っかかるなど、故障の原因になります。
- CD の挿入口に、MD を入れない
- MD の方向と表裏を確認して挿入する
無理に入れると、故障の原因になります。

ディスク (CD, MD) の保管について

長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。
ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ (車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ (温泉地区、火山地区など)
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

本機のお手入れについて

本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いて
ください。

化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の
注意をよく読み、必ずお守り
ください。

ベンジンやシンナー類を使う
とケースや塗装が変質します
ので、使用しないでください。



使用しない

画面を拭くときは

ホコリや汚れは、柔らかい布 (付属のクリー
ングクロスなど) で、乾拭きしてください。
画面をツメで引っかかないでください。キズが
付くと、映像が見づらくなります。

必要なときこ

故障かな!?

症状	チェック項目・処置	ページ
電源・共通		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」でも可) 各コードの接続を確かめてください。 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」 (別紙)にヒューズの交換を依頼してください。	12 54 ~ 60 5
音声のみで、映像が出ない (チャンネルのみ表示)	サイドブレーキコードの接続を確かめてください。 サイドブレーキを引いて、ご使用ください。	58 8
音が出ない	音量を上げてください。 ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。 結露している。しばらく放置してから使用してください。 各コードの接続を確かめてください。 ナビミュートコードを接続しないときは、キャップ (ビニールテープ)で絶縁してください。	12 12 - 54 ~ 60
モードを切り替えても、 音声しか切り替わらない	ナビゲーションがONになっている。 ビジュアル設定が「自動」以外になっている。	24 ~ 25 28 ~ 29
モニターの角度が 調整できない	障害物などに当たっている。調整してください。	13 30 ~ 31
雑音が出る 映像の映りが悪くなる	携帯電話を本機から離してください。	-
ディスプレイ		
画面の明るさが一定でない	ディマーの設定が「自動」になっている。 故障ではありません。設定を「1 ~ 4」にすると、 周囲の明るさに影響されなくなります。	44 ~ 45
映像が暗い/白っぽい 色あいが悪い/色が薄い	画面調整の各項目を調整してください。	44 ~ 45
赤、青または緑の点が表示 される	液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	-
リモコン		
ボタンを押しても 動作しない	電池の極性(+)(-)を確かめてください。 電池が消耗している。交換してください。 リモコン受光部に向けて操作してください。	9 9 10 ~ 11
ナビ付属リモコンで 本機を操作できない	ナビ/テレビ切り替えスイッチの位置を「TV」側に してください。	64
ラジオ		
FM ステレオ放送、モノラル 放送とも、ノイズが多い	ラジオアンテナが十分に伸びているか確かめてください。 オートアンテナコントロールコードの接続を確かめてください。 放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。	- 54 14 ~ 15

症状	原因と処置	ページ
CD/MD		
ディスクを入れても音が出 ない、または自動的に排出 される	ディスクを正しい面と向きで入れてください。 ディスクの汚れをクリーニングしてください。 音楽用(録音されている)ディスクをご使用ください。	16、19 46 ~ 47 46 ~ 47
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。	46 ~ 47
振動により音がとぶ	角度を30°以内に調整し、しっかりと取り付けて ください。	52
CDを入れても音が出ない (再生経過時間は表示されている)	MP3 ファイルを再生した。 本機は、MP3 に対応していません。	2、16、46
MD 再生時にグループ選択 ができない、 正しくグループ化されない	グループ登録されていない。 グループ管理情報が正しいフォーマットで記述されてい ないと、思ったとおりグループ化されなかったり、グルー プ機能が使えない場合があります。 グループ機能を使って録音してください。グループ 管理情報を入力してグループ登録した場合には、もう一度 フォーマットを確かめてください。	18 ~ 19
テレビ		
雑音のみで映像が不鮮明	放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。 テレビアンテナの接続や取り付けを確かめてください。	22 ~ 23 54、57、 62 ~ 63
ナビゲーション・DVD ビデオプレーヤー・ビデオカメラ・車載用カメラ		
ナビゲーションの 映像が出ない	各コードの接続を確かめてください。 ナビゲーション入力の設定を確かめてください。	57 30 ~ 31
ナビゲーションの ピーブ音が出ない	ナビミュートコードの接続を確かめてください。	57
DVD ビデオプレーヤーやビ デオカメラの映像が出ない	各コードの接続を確かめてください。	60
車載用カメラの映像が 出ない	各コードの接続を確かめてください。 カメラ入力の設定を確かめてください。	59 30 ~ 31
音質調整		
前後左右の 何れかの音が出ない	BAL/FAD で、左右前後のバランスを調整してください。 各コードの接続を確かめてください。	38 ~ 39 54 ~ 60
ステレオのとき、 左右の音が逆になる	スピーカーコードの接続を確かめてください。	54 ~ 55
リヤースピーカーから 低音、またはモノラル音声 しか出ない	SUPER-BASS が「ON」に設定されている。 「OFF」にしてください。	42 ~ 43

故障かな!?

こんなときは故障ではありません

症状	原因
映像がゆれる 映像が2重3重になる (雑音が出る)	ビルとビルの間/送電線の付近/山かげ/電車の近くなどを車が通過した。 車の上空を航空機が通過した。
映りが悪くなる 色が出たり消えたりする (雑音が出る)	山や木立のかげになっている。 放送局から遠く、電波が弱い。
画面にはん点が出る (音は正常)	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くなどを車が通過した。
色模様が出る、色が消える (音は正常)	ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くなどを通過した。 車内で無線機を使用した。

結露について

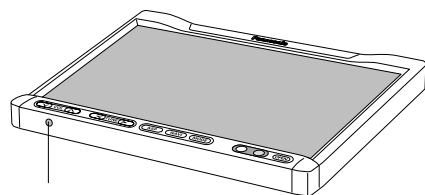
雨の日やヒーターを入れた直後に再生すると、本機内部(CDプレーヤー/MDプレーヤー)の光学系のレンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して1時間ほど放置し、自然に露がとれるのを待ちください。

どのボタンを押しても動作しない場合には

折れにくい棒状のもので、リセットスイッチをまっすぐに押しください。

電源が切れて、出荷時の状態に戻ります。
記憶されている内容は解除されますので、もう一度、設定・調整しなおしてください。

リセットしても正常に戻らない場合は
お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」
(別紙)に修理を依頼してください。



リセットスイッチ

万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。
お客様による修理は、絶対におやめください。

こんな表示が出たときは

CD/MD

表示例	原因・処置
E 1	ディスクが汚れている、裏返しになっている。 挿入したディスクが、データ用または録音されていない。 ディスクを取り出し、確かめてください。
E 2	ディスクにキズがついている。 ディスクを取り出し、確かめてください。
E 3	何らかの動作エラー(メカエラー)が起きた。 イジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC電源を入れなおしてください。 動作しない場合には、リセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。
NO DISC	ディスクが入っていない。 ディスクを入れてください。

チェンジャー

表示例	原因・処置
E 1	自動的に次のディスクへ切り替わります。 ディスクが汚れている、裏返しになっている。 挿入したディスクが、データ用または録音されていない。 ディスクを取り出し、確かめてください。
E 2	自動的に次のディスクへ切り替わります。 ディスクにキズがついている。 ディスクを取り出し、確かめてください。
E 3	何らかの動作エラー(メカエラー)が起きた。 チェンジャーのイジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC電源を入れなおしてください。 動作しない場合には、チェンジャーのリセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。何らかの原因で動作しない。
NO MAGAZIN	ディスクが入っていない。 チェンジャー(マガジン)に、ディスクを入れてください。

配線・取り付けの前に

警告

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線関係

品名	個数
本体	1
電源コード	1
サブコード	1
リバーズ延長コード(紫/白 6 m)	1
圧着式コネクタ	1

本体取り付け関係

品名	個数
特殊座付きタッピンねじ(5 x 8 mm)	4
特殊皿型タッピンねじ(5 x 8 mm)	8

TV アンテナ取り付け関係

品名	個数
アンテナ本体左右(コード 6 m)	1組
アンテナベース(アンテナ本体に装着)	2
クリーナーセット [クリーナー液、ウエス(布)]	一式
コードカバー	4
コードクランパー	6

お願い

本機の取り付けねじの長さは 8 mm です。必ず付属ねじをご使用ください。

注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



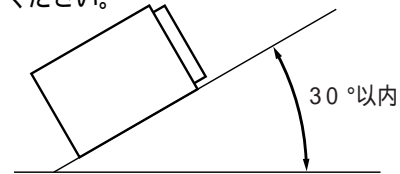
配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

取り付け部の寸法・角度の確認

車種(ダッシュボードの形状や寸法)によって、取り付けられない場合やシフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。

オーディオスペースが 2DIN サイズ(横 180 mm、縦 100 mm)でない場合には、販売店に相談してください。

水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



作業の順序

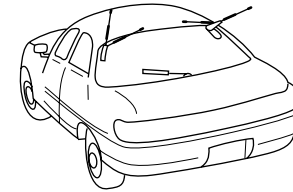
- 1 バッテリーの ⊖ 端子をはずす
- 2 配線する (☞ 54 ~ 60 ページ)
他の機器と接続する場合には、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
ショート事故防止のため、電源コードのコネクタは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- 3 取り付ける (☞ 61 ~ 63 ページ)
- 4 バッテリーの ⊖ 端子を、もとに戻す

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

TV アンテナの取り付けについて (☞ 62 ページ)

リアウィンドウ(上方のコーナー部分)に取り付けてください。

車幅の外側に、はみ出さない
ワイパーにあたらない



お願い

1BOX、2BOX の車に取り付ける場合にはバックドアの開閉でアンテナのエレメントが目にあたり、コードが断線しないように気を付けてください。

接着力を高めるために...

貼りなおさない
一度取り付けると、粘着力が弱くなるため、貼りなおができません。仮止めして、取り付け位置を確認してください。

雨天時に野外で作業しない
ドライヤーなどで湿気を乾かしてください。
ガラスの表面をあたためる
外気温が 20 °C 以下のときは、5 分ほどリアウィンドウデフォグガーや車内ヒーターをご使用ください。

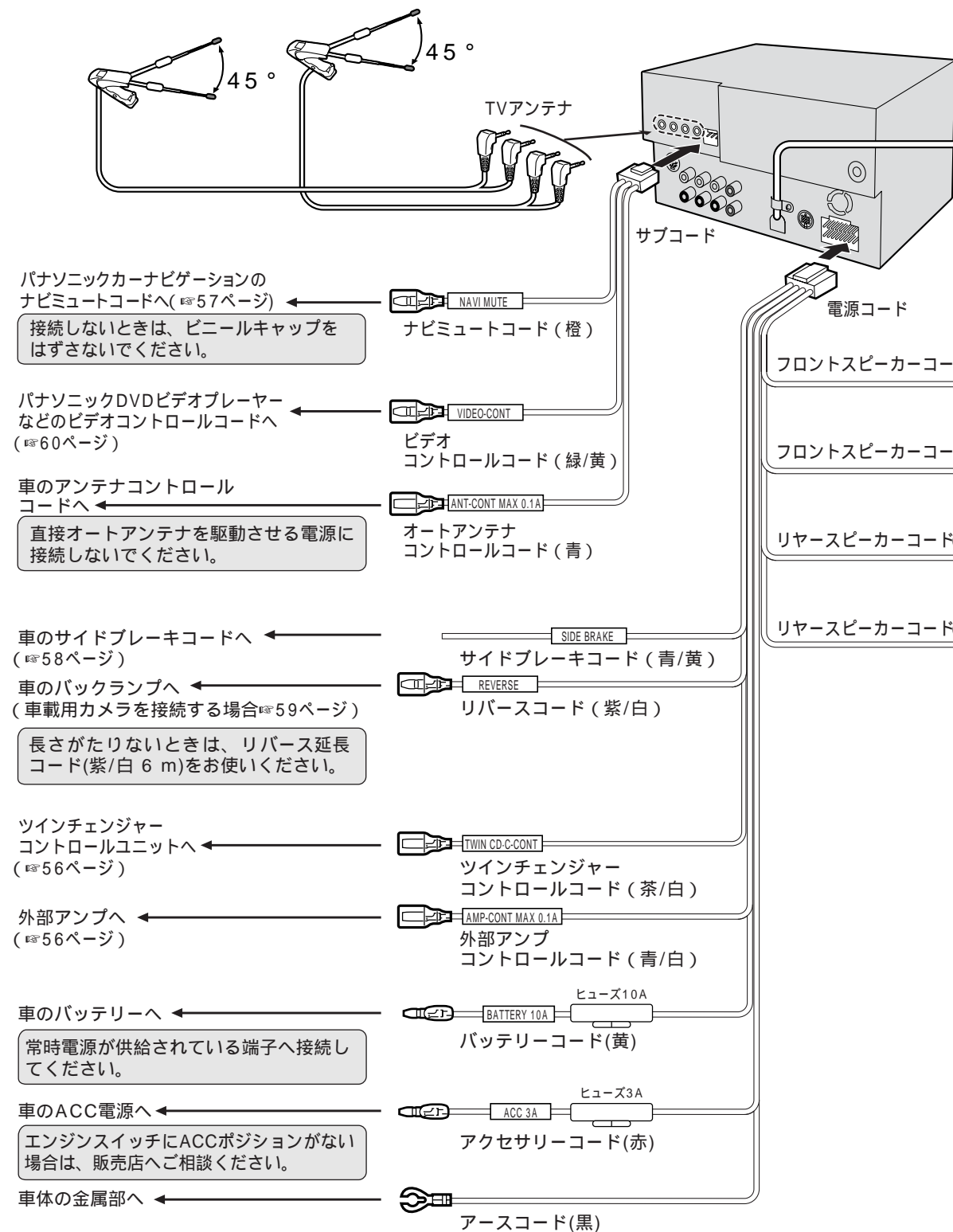
貼り付けたあと、24 時間放置する
雨中を走行したり、引っ張ったりしないでください。(通常の走行は、さしつかえありません。)

お知らせ

フッ素樹脂処理された(水滴や泥水などをはじく)塗装面やガラス面、再塗装された面には取り付けられません。

配線のしかた

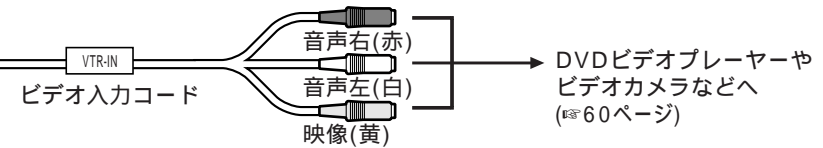
基本配線（付属コードの接続）



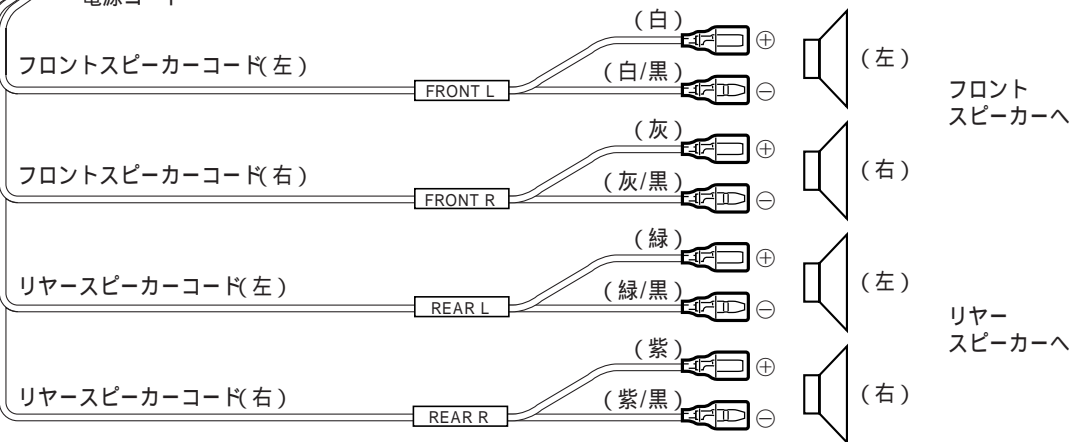
ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

お知らせ

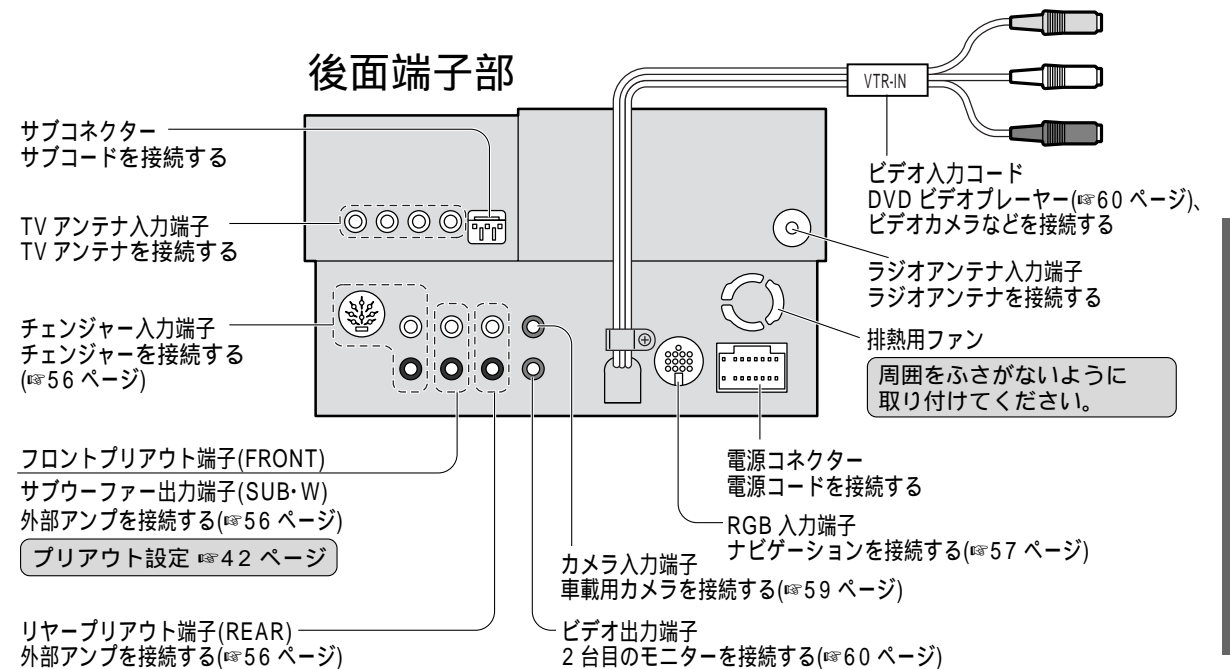
別売のコネクター付コード（車両メーカー別）をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店に相談してください。



接続しないときは、ビニールキャップをはずさないでください。



2スピーカーの場合は使用しないスピーカーコードが車の金属部に接触しないように、ビニールテープ等で絶縁してください。



必要に応じて

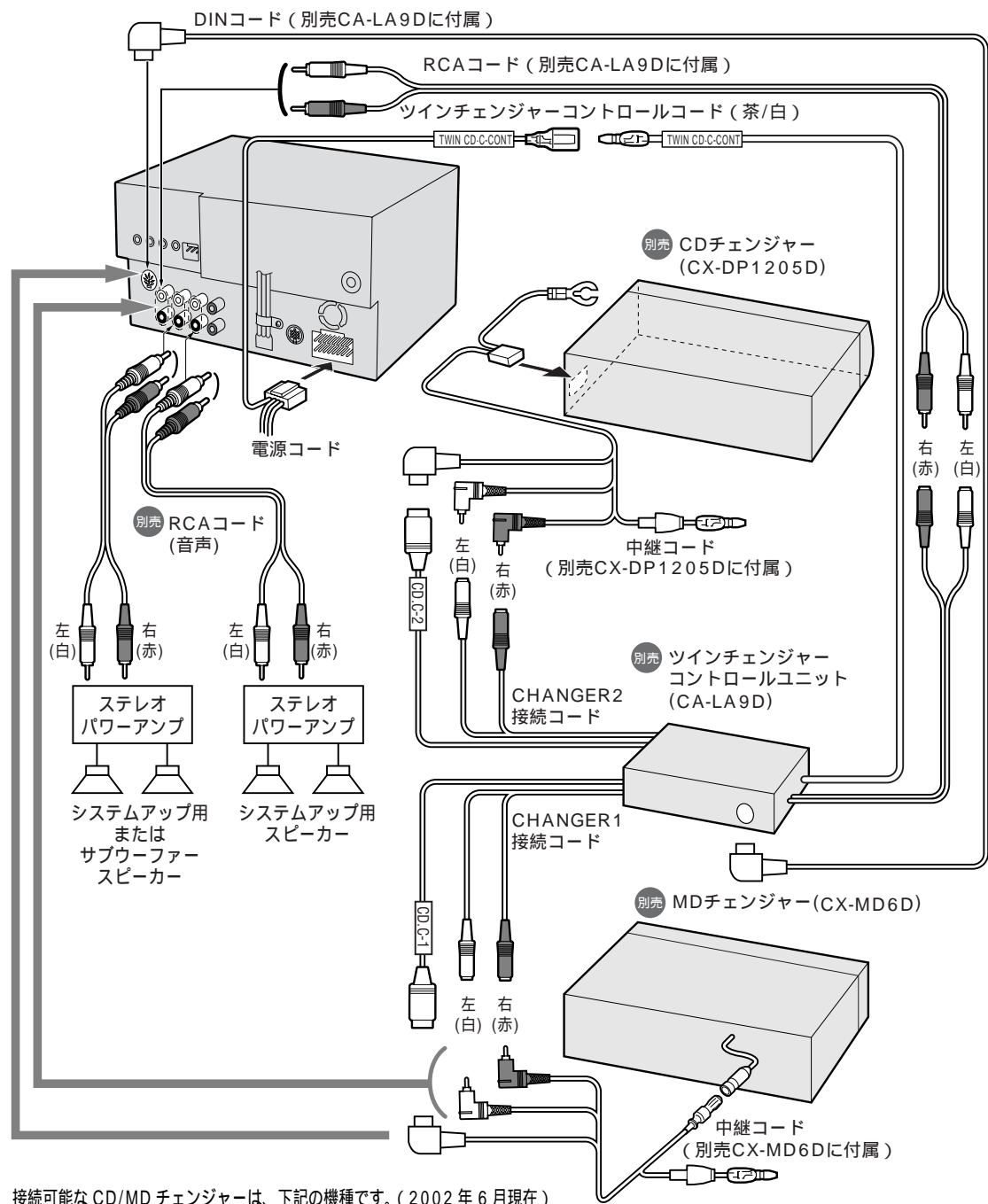
配線のしかた

チェンジャー、外部アンプを接続する

接続する機器の説明書も、併せてご覧ください。

例) CDチェンジャー (CX-DP1205D)、MDチェンジャー (CX-MD6D)

2台接続する場合には、ツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) が必要です。
1台の場合は、太線 (→) のように接続してください。(例: MDチェンジャー)



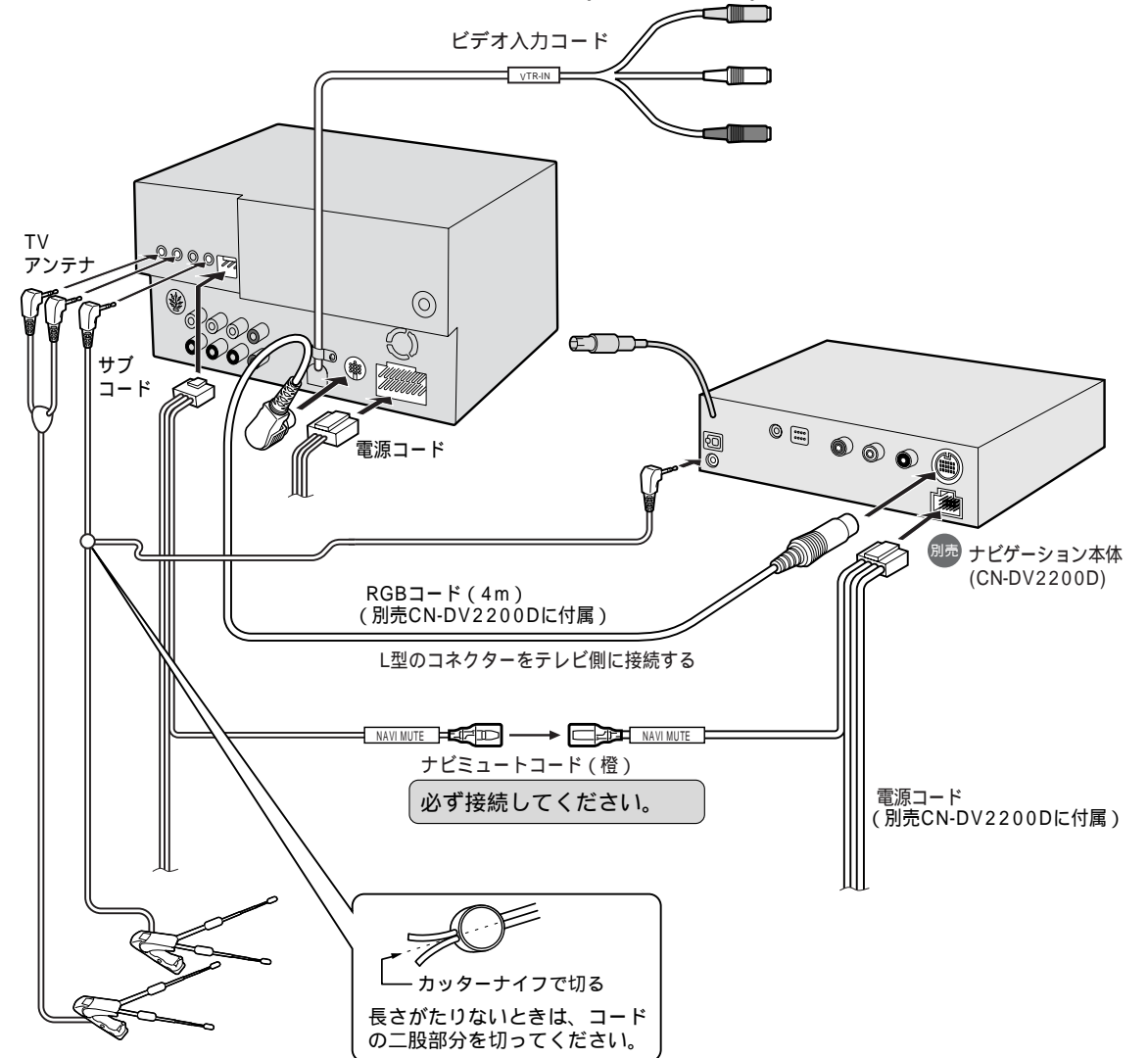
接続可能な CD/MD チェンジャーは、下記の機種です。(2002年6月現在)
CDチェンジャー: CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D
MDチェンジャー: CX-MD6D

ナビゲーションを接続する

接続する機器の説明書も、併せてご覧ください。

例) DVDカーナビゲーションシステム (CN-DV2200D)

ナビゲーション入力の設定を確かめてください。(P.30 ページ)



お願い

TVアンテナのコードと他のコード (RGBコードなど) は、できるだけ離して配線をしてください。
ナビゲーション映像の明るさが一定でない、またはエンジンの回転数に比例したノイズが出る場合には、カーナビゲーションのアースコードを本機のアースコードと同じ場所に接続してください。

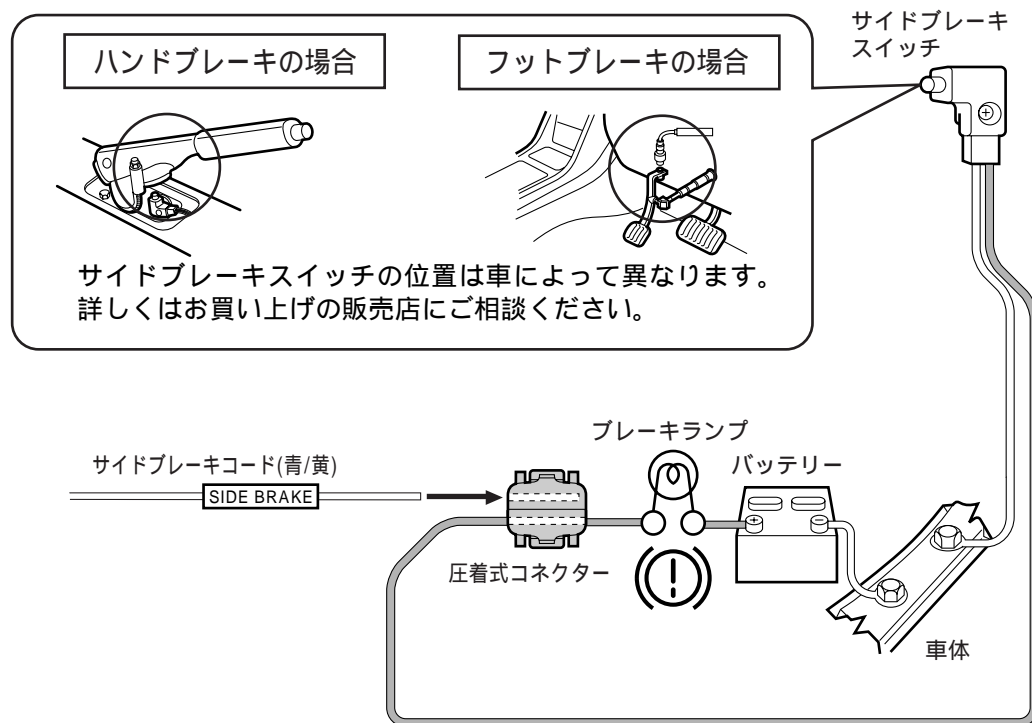
お知らせ

DVDビデオプレーヤー内蔵のカーナビゲーション (CN-DV2520ID など) を接続する場合は本機とナビゲーションの「ビデオ入力コード」および「ビデオコントロールコード」も、接続してください。

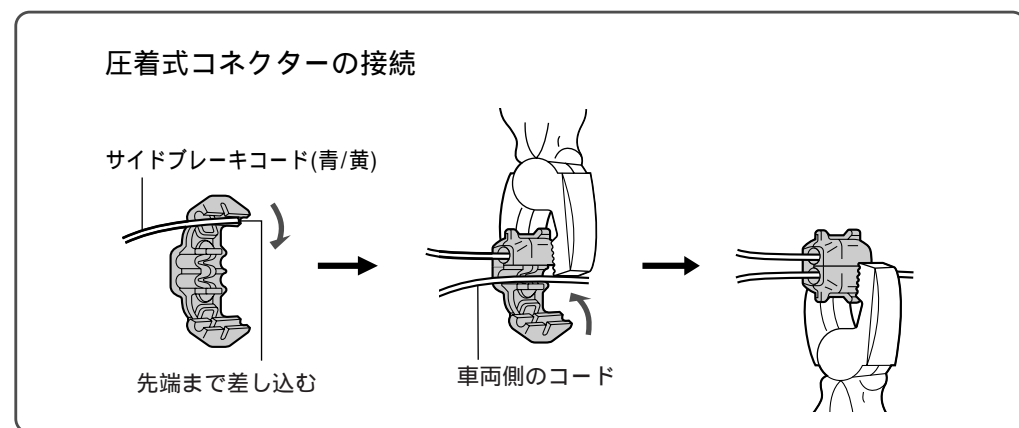
配線のしかた

サイドブレーキコードの配線

安全と事故防止のため必ず行ってください。



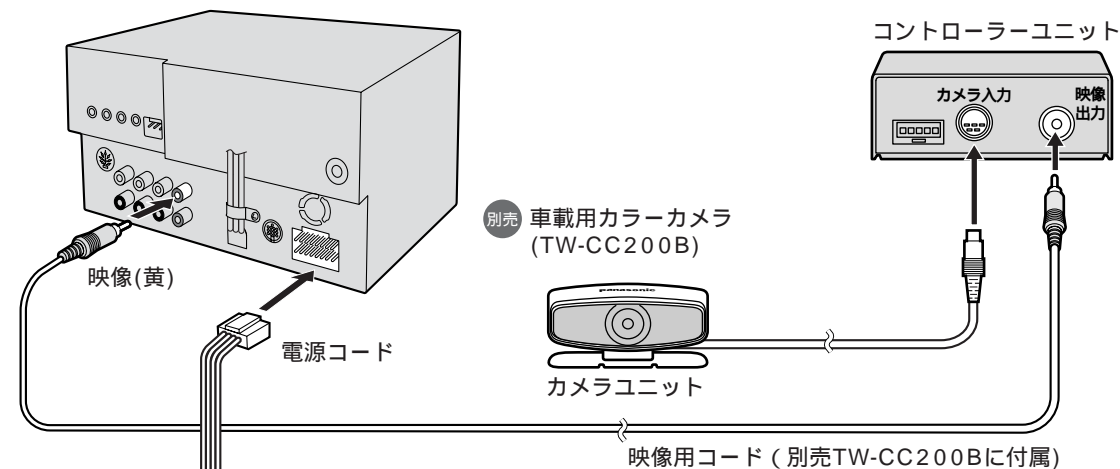
2本のコードのうち、サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。



車載用カメラを接続する

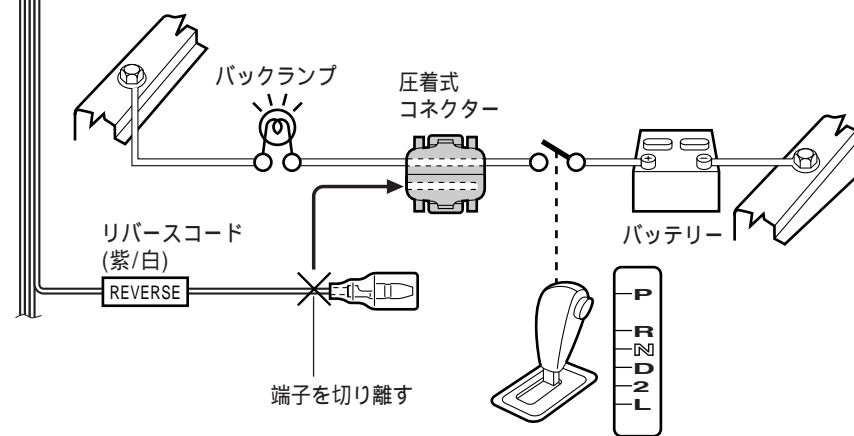
接続する機器の説明書も、併せてご覧ください。

例) パナソニック車載用カラーカメラ (TW-CC200B)
カメラ入力の設定を確かめてください。(P.30 ページ)



リバースコードの配線

車のシフトレバーをリバース (R) に入れたときに点灯するバックランプ (後退灯、透明のレンズが付いたランプ) のプラス線に接続してください。

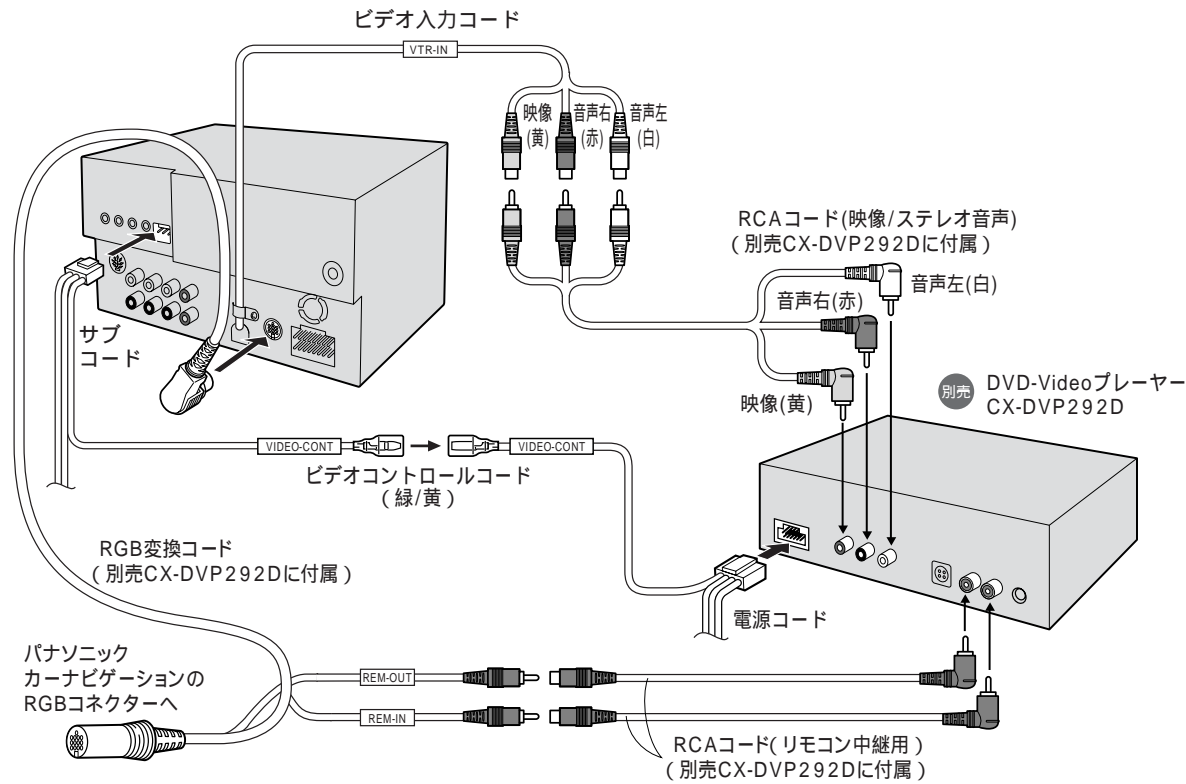


必要に応じて

DVD ビデオプレーヤーを接続する

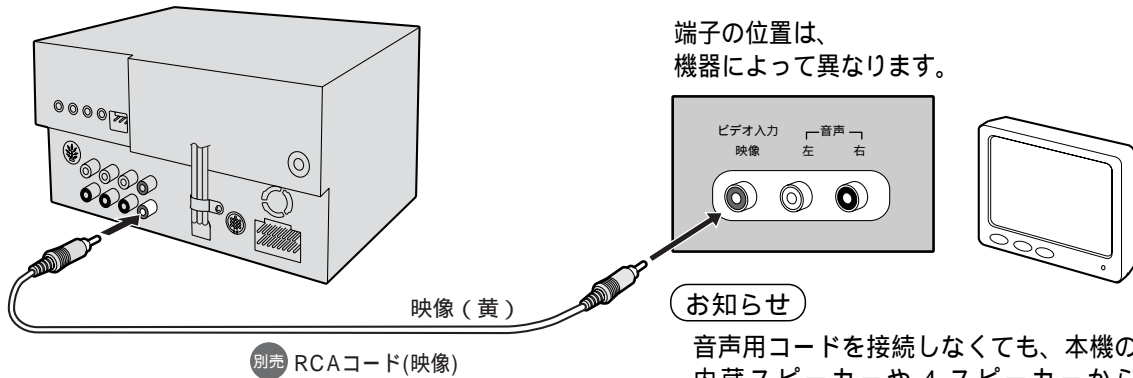
接続する機器の説明書も、併せてご覧ください。

例)DVD-Video プレーヤー (CX-DVP292D)



2 台目のモニターを接続する

接続する機器の説明書も、併せてご覧ください。



お知らせ

音声用コードを接続しなくても、本機の内蔵スピーカーや4スピーカーから音声が出力されます。

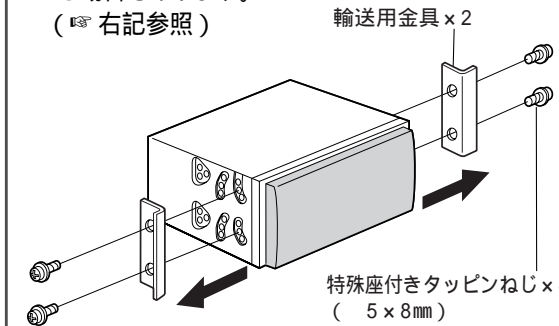
お願い

本機の取り付け用の穴には、タップ加工がありません。必ず付属のタッピンねじをご使用になり、まっすぐ押しながら締めてください。

付属ねじは、取付金具(ブラケット)の穴形状に合わせて選んでください。

輸送用金具をはずしてください

取りはずした4本のねじは、取り付けに使用する場合があります。(※右記参照)



特殊座付きタッピンねじ(4本)

残りの4本は、輸送用金具を固定していたねじをご使用ください。

特殊皿型タッピンねじ(8本)

使用する取付金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店に相談してください。

トヨタ車 (DIN サイズ採用車)

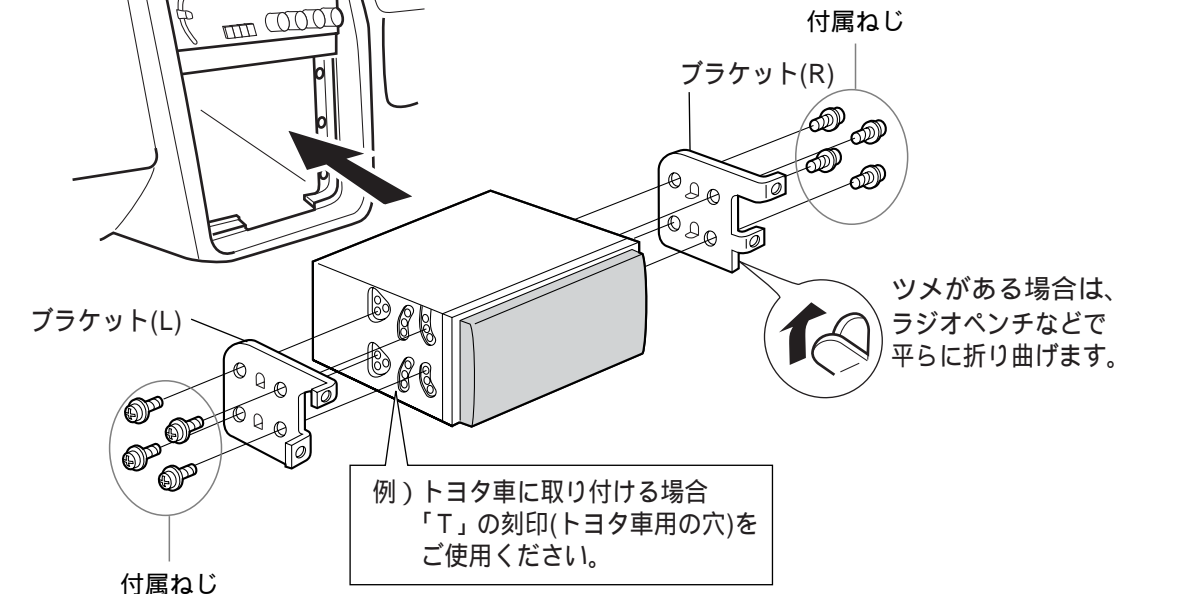
純正のカーステレオを固定していたブラケットをご使用ください。

日産・本田・三菱車 (DIN サイズ採用車)

別売の車両メーカー別標準取付キット、または車種別の取付キットをご使用ください。

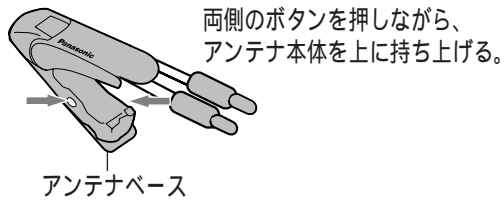
上記メーカー以外の車

別売の専用取付キット、または汎用取付キットをご使用ください。



TV アンテナの取り付けかた

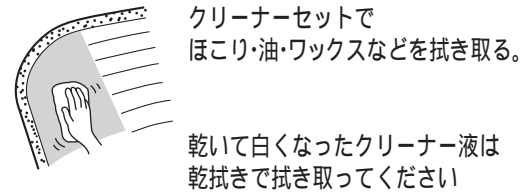
1 アンテナ本体からベースをはずす。



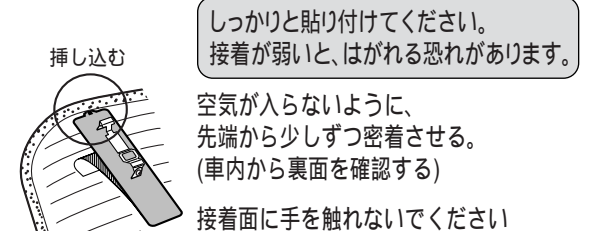
2 ガラス面に合うようにベースを整形する。



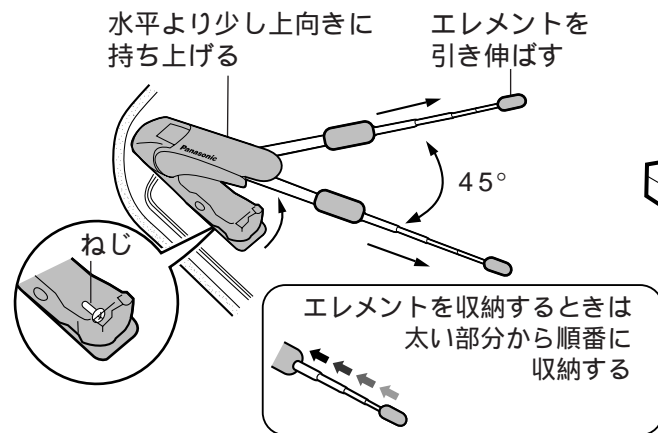
3 貼り付ける部分を拭き、



4 裏紙をはがしてベースを貼り付ける。



調整のしかた



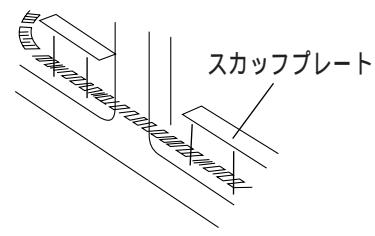
エレメントが車幅からはみ出す場合は...
ドライバーでねじをゆるめて、アンテナ本体の傾きを調整し、ねじを締めなおす。

エレメントがスムーズに伸縮しないときは...
付属のクリーナー液、またはねり状ワックスで磨いてください。

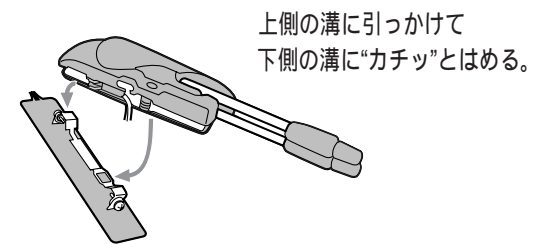
お願い

エレメントの先端は細いので、ていねいに扱ってください。
時々ねじのゆるみを点検し、締めなおしてください。
洗車や長時間駐車するときは...
アンテナ本体をはずし、トランクへ収納してください。

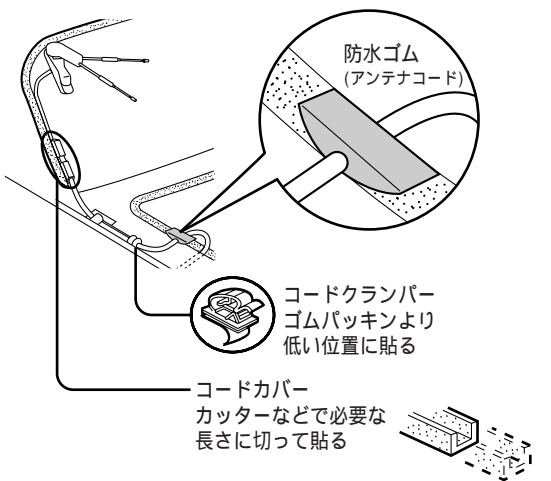
8 車のスカッフプレートをはずしてカーペットの下を通す。



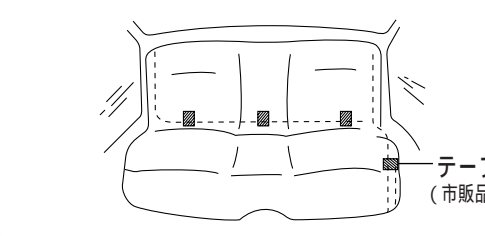
5 コードを外側に出してアンテナ本体を取り付ける。



6 トランクに雨水が入らないようにコードを引き回す。



7 リアシートに要所を固定しながら、コードを引き回す。

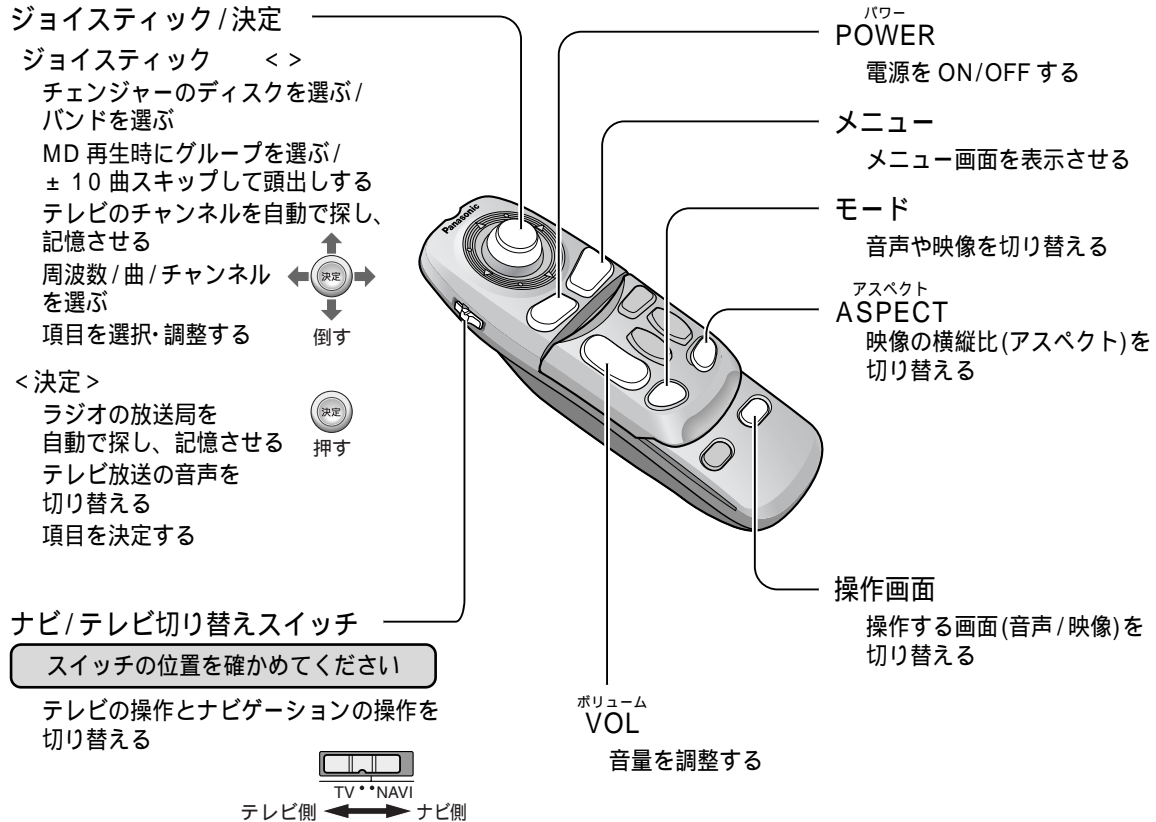


必要に応じて

ナビ付属リモコンでの操作仕様

カーナビゲーションシステムを接続した場合には、付属のリモコンで本機を操作できます。(下記のイラストは、CN-DV2200D 付属リモコンの例です。)

ナビ/テレビ切り替えスイッチを「TV」側にしてください。
(ナビゲーションを操作するときは、「NAVI」側に戻してください。)



- 10 キー (1 ~ 6 のみ使用)**
- 放送局やチャンネルを記憶させる/呼び出す (プリセット)
 - 2 台のチェンジャーを切り替えて使う...「1・2」
 - MD のタイトルを表示させる.....「3」
 - 順不同に聞く.....「4」
 - 曲を探す.....「5」
 - 繰り返し聞く.....「6」

お知らせ

ナビ付属リモコンでは操作できない機能もあ
ります。本機の付属リモコンで操作してくださ
い。



共通部

電源電圧	: DC12 V (11 V - 16 V) ⊖ アース (試験電圧 14.4 V)
消費電流	: 8.5 A 以下 (CD 動作定格出力時)
定格出力	: 18 W × 4 CH (1 kHz, 1%, 4)
最大出力	: 45 W × 4 CH、モニター内蔵スピーカー 5 W
適合スピーカーインピーダンス	: 4
映像入力信号	: コンポジットビデオ信号 1.0 Vp-p (75)
音声入力信号	: 0.5 Vrms (VTR)
映像出力信号	: コンポジットビデオ信号 1.0 Vp-p (75)
プリアウト出力電圧	: 0.5 Vrms (TV)
プリアウト出力インピーダンス	: 600
外形寸法 / 質量	: 幅 178 × 高さ 110 × 奥行き 165 (mm) / 3 kg

モニター部

画面寸法	: 7V 型ワイド 幅 152.4 × 高さ 91.44、対角 178 (mm)
画素数	: 336 960 画素 (縦 234 × 横 480 × 3)
有効画素率	: 99.99 % 以上
表示方式	: 透過型カラーフィルター方式
駆動方式	: TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
使用光源	: L の字型冷陰極管 (エッジライト方式)

DSP 部

チャンネル数	: 入力 2 チャンネル, 出力 6 チャンネル
スペースモード	: 7 種類
イコライザー中心周波数	: 80、160、320、640、1.6 k、4 k、10 k (Hz)
イコライザー可変範囲	: - 12 dB ~ + 12 dB (13 段階)

FM チューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度 (S/N 30 dB)	: 12 dBf
S/N 比 (MONO)	: 70 dB
ステレオ分離度	: 42 dB
実効選択度 (± 400 kHz)	: 75 dB

AM チューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	: 28 dB/μV
イメージ妨害比	: 65 dB

CD プレーヤー部

複号化	: 16 ビット直線
周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

MD プレーヤー部

周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

TV チューナー部

受信チャンネル	: VHF1 ~ 12 ch, UHF13 ~ 62 ch (TV ステレオ、音声多重)
実用感度	: 35 dB/μV

TV アンテナ

出力インピーダンス	: 75 Ω × 4 (ミニプラグ付)
コードの長さ	: 6 m
外形寸法	: 幅 30 × 高さ 28 × 奥行き 190 (mm) (エレメント収納時)
質量	: 250 g (アンテナ本体片側、コードを含む)

モニターの V 型 (7V 型等) は、有効
画面の対角寸法を基準とした大きさ
の目安です。

「NAVI」「ナビ」は登録商標です。

本機は、ドルビーラボラトリーズ
ライセンスコーポレーションの
米国および外国特許に基づく許諾製
品です。

製品仕様および外観は、改良のため
予告なく変更することがありますの
で、ご了承ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-AV7000LTD
販売店名	☎ ()	-	
お客様 ご相談窓口	☎ ()	-	

この説明書は、再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステムビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町 600 番地

YEFM283920

B0602-0